

題字・末川 博名誉総長

R Alumni

立命館大学校友会

立命館大学校友会報

NO.
246

2011
OCTOBER

Brilliance
輝くひと
78

笑顔は復興の第一歩

笑顔は復興の第一歩

さん(176文)

[illegible]

11月11日(木)日本大船政で開業
 されました皆さまに、心よりお祝
 いを申し上げます。私共も大船政
 により、且、同業、本質のものを
 を久しいました。皆さまには人々二
 度をおかけし、またお前々も
 おかけして、まいりし、誠にござい
 ました。そして心より、有難うござ
 いました。

この使いさまは、お出掛けに、おまは
二日間、さき手車用品として、お
まれお出掛けした。全て手車用品
毎日お出掛けに、お出掛けに、お
お客さまには何かと不便、ご迷惑
をおかけいたしますこともあろうかと

特 集 I

前進する校友たち ～震災と私たちのいま～

特 集 II

立命館の環境への取り組み

03 特集Ⅰ

前進する校友たち

～震災と私たちのいま～

岩手県 金野良一さん

鈴木正彦さん

宮城県 木村長努さん

佐々木圭亮さん・靖子さん

福島県 桑原勇健さん・大島寅次郎さん・渋川恵男さん

鈴木重典さん ご一家



SPECIAL

10 東日本大震災復興支援事業計画（第一次）および
立命館大学校友会東日本大震災義援金について

01 輝くひと

佐々木靖子さん

12 +Rな人

垣内俊哉さん 奥田華朱美さん



18

13 東日本大震災の復興支援に関わる学生たち

14 特集Ⅱ

立命館の環境への取り組み

今中忠行 生命科学部教授

ZEVEX代表 鈴木一史さん

エコライフデザインサークル「Reco.lab」



SPECIAL

18 校友会長を訪ねて

京都校友会会長 布垣 豊さん

英国校友会会長 一ノ瀬俊郎さん

20 校友会ネットワーク、校友会・グループインフォメーション

22 校友会総会レポート

23 『兄のランドセル』朗読劇のご案内 ほか

24 立命館のゼミナール訪問

26 学生イベント&スポーツ

28 キャンパストピックス

30 INFORMATION

31 編集室から



26

|表紙|の|人|

株式会社ささ圭
取締役佐々木 靖子さん
('76文)

笑顔は復興の第一歩

筐かまぼこ発祥の地と言われる宮城県。同県名取市にある筐かまぼこ屋さん「ささ圭」では、女将・佐々木靖子さんの明るく優しい笑顔がお客を迎えてくれる。

父子二代続く筐かまぼこ店に嫁いで30年余り。先代が築いた味と技を夫と受け継ぎ、名取市閑上地区を拠点に3工場と2店舗を構えるまで事業を発展させた。その三つの工場と本店、自宅が、3月11日、津波によって跡形もなく消えてしまった。

何もかもを失い、ゼロはおろか、マイナスから始めなくてはならない状況。事業の将来も見えず、「おかみ圭子」として震災前から「ささ圭」の仕事ぶりを綴り続けてきたブログも中断した。しかし、久々に開いてみたメールボックスには、得意先や友人、さらには見ず知らずの人から安否を気遣い、励まそうとするメールが何十件も寄せられていた。「せめて今の状況をお知らせするだけでも、みなさんに安心してもらえるんじゃないか」。夫の言葉をきっかけに、4月3日、再びパソコンの前に座った。

—何から話したらいいのでしょうか。…これを打っている間も、悔しくて、もっていきようのない怒りと悲しみに涙があふれ文字がかすみます。…でも泣いてばかりいられません。私たちが生き残ったのは、きっとまだ何かやり残したことがあるからだと思っています。まだまだ長い道のりです。でもどうか「ささ圭」を忘れないでください。家族で再建を誓い合った日から3カ月が過ぎた7月1日、新店舗・工場の再開を実現。新生「ささ圭」の一步を踏み出した。

朗らかに、和やかに、再建へと奮闘する毎日をつぶさに伝える「圭子のブログ」は、多くの人々に勇気と安らぎを与えている。休みなく働く日が続くが、どんなに疲れていても笑顔を絶やすことはない。「笑顔は復興の第一歩。心が折れそうになっても、笑顔を忘れなければきっとこれからも大丈夫」。

「ささ圭」HP <http://www.sasakei.co.jp/>

※P7に関連記事。

(写真・小幡豊 文・平松万知)



前 進 す る 校 友 た ち

～ 震 災 と 私 た ち の い ま ～

特 集 I

3月11日の東日本大震災から半年以上が過ぎました。しかし、震災は過ぎ去った出来事ではありません。慣れない生活や、今も続く余震。被害の大きかった現地では、たくさんの不安を抱えながらも多くの人が震災から立ち直ろうと奮闘を続けています。「復興」を信じて、長い道のりを歩み出した岩手・宮城・福島の校友の姿をお伝えします。



あ の こ ろ も こ れ か ら も
は じ ま り の い ま が あ る
立 命 館 大 学 校 友 会



が ん ば ろ う 日 本
立 命 館 大 学 校 友 会
東 日 本 大 震 災
被 災 地 復 興 支 援



郷土への誇りと愛着を いつも忘れず

大船渡市在住

金野良一 さん（81文）

7月1日に、3カ月遅れの人事異動で15年ぶりに大船渡市立博物館に戻り、館長に就任しました。震災後休館していた博物館も、どうにかスタッフがそろい、7月14日に再スタートを切ることができました。

震災発生当時、市の教育委員会生涯学習課課長だった私は、児童らの安否確認や避難所対応、所管施設等の被害調査にあたっていました。避難所では、避難されてきた方々に市の職員が24時間体制で対応しました。被災した自宅の片付けは家族まかせにして、連日、市役所に泊り込み、事務室の床で寝泊りして、家族が避難生活をしている実家に戻ったのは3月の終わりでした。ライフラインは少しずつ回復してきましたが、避難所の運営は今も続いています。まだ市内には避難所が9カ所あり、そこで130人の方々が暮らしているのです（7月末現在）。避難所が解消されるまで、私たちの対応は続きます。

「がんばろう! 東北」「がんばろう! 日本」と聞くと、「当然のこと、私たちは頑張っています」と答えたい。今はみんなが一緒になって、まちを立て直していこうという気持ちで動いています。「とにかく前へ」と。それには友人や知人の心遣いが何よりの支えになっています。うれしかったのは、震災後すぐに全国の学友から連絡をもらったり、学友同士で私の安否を確認し合ってくれていたりしたこと。「絆」や「日常」というもののありがたさが今回ほど感じたことはありません。「何か

できることがあればお手伝いしますよ」と声をかけてくださるだけでも、私たちにとっては大きな支援になっています。いろんな方々がいろんなところで被災した地域を支えてくれ、本当にありがたいと感謝しています。

これまで私は「郷土への誇りと愛着を」という思いを持って、博物館活動、文化財保護、生涯学習推進などの業務に携わってきました。郷土に誇りを持つことは郷土への愛着を生み、誇りと愛着を持つ人が増えれば、まちは発展していくと考えるからです。この思いはきっとこれからのまちづくりにもつながるし、これからもこの思いで私は仕事に向かっていくつもりです。そこで博物館については、まず以前の活動レベルに戻したい。そして若い学芸員を育てて、これまで以上に活動を活発化させていきたいと思っています。今年度は常設展示の一部を改修し、三陸沿岸の代表的な磯舟などの展示を行なう予定です。市民のみならず、全国から支援にいられている方々にも来館していただき、大船渡や三陸の自然や文化に触れてもらいたいですね。

最後に、今の震災被災地の状況を一人でも多くの人に見てほしい。けれど実際に見に来られることは難しいと思うので、だからせめて「知ってください」と言いたい。こんなことがあったということを永く皆さんの記憶の中にとどめ、語り伝えていってほしいのです。

私たちは、頑張っています。



震災前まで勤務していた公民館施設が全壊し、公民館館長の職を失いましたが、地元の小学校の講師として春から新しい道を歩みだしています。

勤務先だった公民館は、隣接する市の中心施設とともにすべて津波で流失しました。災害時の避難場所に指定されていた市民体育館では、揺れのあと避難してきた100人以上の方が波にのまれて亡くなりました。

町内会長だった私は、震災後すぐにアンケートをとって町内の全体像を把握し、人数の変動や必要な物資などを自衛隊や市の災害対策本部に報告するというやり取りに走っていました。各家庭への配給は町内の班長を通じて進めてもらい、避難所では、数名で委員会を作り、ルールを決めて運営してもらいました。おかげでうちの町内では争い事は一切なく、安定してやっていくことができました。動いた分、効果があり、苦労した甲斐がありました。

6月半ばには、町内に避難されていた方はほとんど仮設住宅へ引っ越されました。しかし、8月現在、市の復興計画はまだ示されておらず、具体的な話をして復興へと進んでいるわけではありません。ガレキの撤去はまだ完全に終わっておらず、土地は80cm以上も地盤沈下し、海水に浸かったままの場所も多い。「千年に一度のことだから大丈夫」と言い合ったりもしますが、「次に津波がきたらまたやられるぞ」と不安がって、海の近くに戻りたくないと言う人も少なくありません。

さっきまで目の前にあった街がなくなるという気持ちは、どう表現していいのかわかりません。

そんな不安を抱えながらも、「まちづくりはみんなで作らなくては」と誰もが思っています。何かすることによって希望を取り戻そうと、少しずつ動き始めているところです。今一番の課題は、雇用の創出。働く場所がなければ若い人も街を出て行かねばなりません。陸前高田だけでなく、働き口のあった近隣市街も大きな被害に遭い、たくさんの方が仕事を失いました。8月に地元でスーパーがオープンし、相当数の雇用が生まれましたが、これからは街の主力産業だった水産業でもかつての活気を取り戻してもらいたいです。震災後、自衛隊や警察、ボランティア、多くの方の懸命な支援で、あのガレキの山が見違えるほど処理されました。立命館の先生や校友の方からもいろんな形の支援をいただき、本当にうれしかったです。心から感謝しています。とにかく希望だけは絶対に失わずに、これからも前に進んでいきたいと強く願っています。



めちゃくちゃになった市民体育館。この隣に鈴木さんの勤務する公民館があった。



希望を 取り戻すため 動き始めた

岩手県

陸前高田市在住

鈴木正彦 さん（71歳）

ガレキと泥の中から掘り起こした缶詰を足掛かりに復興を目指しています。

津波によって、経営する水産加工会社「木の屋石巻水産」の本社、工場と倉庫が全壊。100社ほどの工場があった水産団地は、ほぼ壊滅状態でした。

宮城県

復興の足掛かりに 泥だらけの缶詰を

当社の看板商品・金華さばの缶詰は、水揚げしたさばをその日のうちに加工する新鮮さが特徴です。震災の後、長年のお客様から缶詰がほしいと言われたのですが、倉庫に残った缶詰は泥に埋もれてしまい、販売できるような商品が何もなく。そのことを伝えると「泥が付いたままでいいから送ってほしい。こっちで洗って、それを売って義援金にするから」との言葉が返ってきたのです。泥だらけの缶詰が商品になるなんて思いも寄らなかったのに、「あの味をもう一度楽しみたい。石巻の復興支援になれば」と各地のお客様から同様の申し出をいただきました。たくさんの方の支援の声に支えられて、従業員総出で泥から缶詰を掘り起こし、出荷し続けています。

この間、全国から数千人のボランティアの方が作業を手伝いに来てくれました。現在約100万缶の掘り起こし作業

を終了し、洗浄・出荷作業が近々終わられるかというところ。今でも毎日30名ほどの方が手伝いに来てくれています。こんな形で協力してもらえるなんて、本当に奇跡的なこと。缶詰はたくさんの方の思いがこもった貴重なものです。

石巻では今、様々な組合が復興に向けて話し合い、みんなで協力して利益を出せるシステムを作ろうとしています。当社では、OEM（相手先ブランドによる生産）により他工場缶詰を生産し、事業の再開につなげようとしています。5月には新入社員も受け入れ、現在40名の従業員が在籍しています。今しか出来ない良い経験を従業員みんなにしてもらい、また前に進みたいと思っています。

復興なんてできるのかと思う時もあります。会社再建の見通しはまだ立たず、石巻全体の復興の枠作りも出来ていません。漁をしても受け入れる加工業者がおらず、水産業全体が非常に難しい状況です。東京など出荷先では「放射能は大丈夫なのか」などと言われることもあるようです。

それでも水産業関係者は元気を取り戻しています。「こないない経験、もう後でできないよ」と言って励まし合っています。現実をあるがままに受け入れて、この状況を楽しまないとやっていけません。みんなが石巻で暮らしていけるように、まち全体で復旧・復興していきたい。校友の皆さんにもぜひ一度石巻に来て、都会では感じ取れない私たちの現実を肌で感じてもらえれば。それこそがまちの復興につながると思います。

石巻市在住

木村長努 さん（77歳）

震災前



震災後



工場横にあった1,000tの魚油を貯蔵できるタンクも、津波で約300m先まで流されていた。





自宅と「ささ圭」本店・本店工場の跡地。何千人もの暮らしがこのまちに息づいていた。

名取市在住

佐々木圭亮 さん（'77産社） 靖子 さん（'76文）

津波で流失したまちが愛してくれた 笹かまぼこを再び

宮城県

震災で、一度は廃業を決意した事業を再建。唯一残った店舗を改造し、手造りのかまぼこ工房付の店舗として再スタートさせました。

津波は私たちが住む閑上のまちを残らず破壊しました。着の身着のままで津波から逃れ、命だけは無事でしたが、営んでいたかまぼこ製造業「ささ圭」の本店と三つの工場、自宅を流失。大切な従業員3名の命も奪われました。

3月14日、ようやくたどり着いた店や工場は以前の面影もなくガレキとなっていました。「もう廃業しかない」と一度は従業員に解雇を通知。しかし、石巻に住む同級生の「石巻はまち全体で復興を考えている。いま復興しないとだめになるぞ」との言葉をきっかけに再建の道を考え直しました。父の代から受け継いだ大切な家業を守っていききたい。けれど次の代を引き継ぐつもりでいる息子に大きな重荷を背負わせることになるかもしれない。本当に悩みました。それでも「やっぱり今は前に進まなきゃだめだ」と、最後は家族全員気持ちを一つにして再建の道を選びました。津波で流されず、上向きのまま残っていた工場の門扉を見つけた時は「再建してほしい…ということやなあ」と、思いを確認しました。従業員には「必ず再建するから待っていてほしい。再開する時には、希望する人は全員雇う」と廃業を撤回し、再建を約束。ほと

んどの従業員がその言葉を信じて会社に残り、事業の再開を待ってくれました。

笹かまぼこの製造ができるまでは、委託製造した牛タンソーセージを販売して再建への一路にしました。機械も資材もすべて流失したのですが、包装に必要な機械は、どこからか事情を知った見ず知らずの会社が無償で提供してくださったのです。困ったことが起きるといつも、友人、知人、そして見ず知らずの方までもが手を差し伸べてくださいました。いろんな方に物心両面で支えられて私たちの今があるのです。7月1日、店の再開初日、焼き上げた手造り笹かまぼこを冷蔵庫に入れている時には涙が止まりませんでした。「こんなに早く笹かまぼこを焼ける日がくるとは思わなかった」と。全国の皆さんの励ましと、従業員と家族の支えのおかげです。

手焼きのためまだ多くは作れませんが、それでも連日の努力で、今は開店当初の倍の2千枚以上の笹かまぼこを作れるようになりました。応援してくださった皆様への恩返しとなるよう、一日も早く、一人でも多くの方に笹かまぼこをお届けできるようにしたい。私たちは、たくさんの方々に生かされている気がしてなりません。亡くなられた方々の分まで、一歩々々、復興に向けて進んでいきたいと思います。

※表紙、P2「輝く人」に関連記事。

風評を乗り越え、 全国の皆さんを お迎えしたい

会津坂下町在住 桑原 勇健 さん（'69理工）（写真左）
 会津若松市在住 大島 寅次郎 さん（'70経済）（写真右）
 会津若松商工会議所副会頭 渋川 恵男 さん（渋川問屋オーナー）（写真中央）

■桑原さん：会津地方は原発より100km以上離れており、途中には阿武隈高地や奥羽山脈があります。むしろ仙台市より遠いほどで、放射線量についてもこれまでで強い数値は計測されていなかったのですが、同じ福島県ということで風評が生じ観光客が激減しました。

■渋川さん：今年3～4月の観光客数は対前年同期比で95%減、会津のシンボルともいえる若松城（鶴ヶ城）の入場者数は何と1/500にまで落ち込んでいます。会津は人気の修学旅行先で、中・高校生が連れ立って歩く姿は、町の風物詩となっていました。今はその光景を全く見るできません。

■大島さん：会津は豊かで美しい自然に恵まれている上に、歴史の深みもあいまって、四季を通じて観光客が訪れる土地です。米、野菜、果実などの農産物のほか、漆器、清酒などの伝統的産業もあります。私は会津漆器を扱っていますが、震災以降商いがピタリと止まっています。漆器は慶事



渋川さんは明治から大正にかけて海産物問屋であった自店舗や屋敷を、郷土料理が楽しめる食事処・旅館として再整備。会津若松市七日町通再生のきっかけとなった「渋川問屋」は、「会津町なか観光」の拠点として多くの人で賑わうようになった。渋川さんは立命館出身ではないが桑原さん・大島さんと親しくされており、今回は地域を代表する顔としてご登場いただいた。

やイベントなどに使われることが多いもので、現在のような状況では出番がありません。経営面でも甚大な影響が出ています。

■桑原さん：私の実家も会津産のみそやしょうゆ

を商っているのですが、得意先から返品が相次ぎ途方に暮れています。

■渋川さん：今回の震災で、会津は震度や津波による具

体的な被害を受けることこそありませんでしたが、今は放射線量の影響や、それに伴う各種風評被害により深刻なダメージを受けています。目に見えない放射線に振り回されることは本当に辛い。せめて事態収束の時期が分かるのであれば、復興計画の立てようもあると思うのですが。率直に言うと、政府ははじめ各機関の情報発表の内容やタイミングについて、強く物申したい気持ちがあります。

■大島さん：今、震災による物理的被害が生じた地域に、各種支援が集中しているように見えますが、私たちのように罹災証明が発行されることのない地域においても、支援を欲しているということを、全国に是非ともお伝えしたい。

■渋川さん：私たちが一番恐れているのは、会津もまた、震災に関する被害で苦しんでいるという現実、社会的な関心が持たれなくなることです。会津の産業基幹は観光にあるということで、この間溝畑宏観光庁長官が何度も会津入りして、国内外に向けて様々なアピールを展開してくれました。少しずつではありますが、観光客も戻ってきています。全国の立命館校友の皆さんも、是非会津をお訪ねください。私たちが精一杯おもてなしさせていただきます。



■**重典さん**：福島県中通りの福島市や郡山市では、放射線被ばくの影響について、子どもを持つ親の間で深刻な悩みが広がっています。目の前には今までどおりの風景があるのに、目に見えない放射線がそれらを侵食しつつあるということに、これまで決して体験したことなかったような恐怖を感じています。将来子どもや孫に影響が出るかもしれないと考えると心配です。

■**ひろみさん**：放射線量が高いといわれるところは、草むらや道路の端、水たまりなど、子どもたちが好んで遊ぶ場所ばかり。これまで「道路の端を歩きなさい」と言っていたのが、「端を歩かないようにしなさい」と言わねばならない。水や食べ物に関しても、人それぞれに情報の受け止め方や考え方に温度差があって、親しい友人、また親族の間であっても本音ベースでは話がしにくい状況です。震災直後に水や食物を普段どおり与えたことを強く後悔し、「子どもに対して申し訳ない」と自責する人もたくさんいます。自分自身や周囲を見渡しても、母親の苦悩はとりわけ深いと感じています。

■**重典さん**：原発による物理的・風評被害があったわけではないので、東京電力が補償や賠償をしてくれることはありません。しかし、見えざる脅威と絶えず対峙しなければならないことや、しかもこの先の展開が読めないことは、相当なストレスになっています。発言したいことや決断したいことは多々ありますが、そのことが立場の違う誰かを傷つけてしま

うのではないかと不安もあります。放射線や放射能の脅威から、子どもをどのように守ったらよいのか、政治や行政関係者そして科学者は、こうした危機管理の局面で確かな役割を果たしてほしいと願っています。母校立命館をはじめとする大学の教育・研究にも切実な期待感をもっています。

震災直後、大阪の校友が大量のケースで飲料水を送ってくれたほか、富山の校友が子どもの受け入れ先を探してくれました。二人とも大学からの親友です。相談をしたり、頼ることができる校友が全国にいるということは、私たちにとって大きな心の支えになっており、これまで以上に校友の絆を強く感じます。今回は夏休みのひとときを、校友会の配慮により母校のセミナーハウスで過ごすことができました。皆さんからの温かいご支援に感謝したいと思います。その一方で、今私たちが経験していることを、決して他人事だとは思わないでほしいとも思います。

※8月中旬、立命館大学びわこ・くさつキャンパスにて取材

福島県

見えざる脅威に対峙するなか
実感する校友の強い絆



久しぶりにキャッチボールを楽しむ大介君と涼介君。二人とも野球が好きとのこと。今福島ではこうした光景を見かけることが難しい。



福島市在住

鈴木重典 さん（'88法）ご一家

ひろみさん、大介さん（中1）、涼介さん（小2）



立命館大学校友会東日本大震災復興支援事業計画（第一次）について

去る6月4日の第2回常任幹事会にて設置を決定し、同月27日に発足した「東日本大震災復興支援特別委員会」は、9月までに4回の委員会を開催し、校友会における復興支援事業のあり方や具体的内容について検討を進め、このほど復興支援事業計画（第一次）を以下のとおり確定いたしましたので、お知らせいたします。

復興支援事業の実施にあたりまして、引き続き、全国の校友の皆様による力強いご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

1. 目的

- ①校友の校友による校友のための復興支援とし、被災地・日本の復興に繋ぐこと。
- ②被災地の校友（校友会）のニーズに応え、校友会全体の活動の活性化・組織の強化に繋ぐこと。

2. 支援の対象

主として、岩手、宮城、福島において被災された校友の方々

3. 事業の概要

事業A 被災地の校友（校友会）と全国の校友（校友会）とを繋ぐ「場」と「機会」の創出

- ①webサイト上での情報の発信と交換の場の創出と展開
復興支援に関する情報を発信し交換することを目的とした「立命館大学校友会東日本大震災復興支援情報サイト」を新たに開設します。

- ②「オール立命館校友大会2011in京都」への被災された校友の招待

10月29日（土）に開催する「オール立命館校友大会2011in京都」に、岩手・宮城・福島各県にて被災された校友の皆様（各県より10名様まで、合計30名様）をご招待（総会・懇親パーティーへのご招待、交通費・宿泊費の補助として50,000円を支給）します。

- ③被災地校友（校友会）の招聘に伴う補助

都道府県・グループ校友会が復興支援の取組みの一環として、被災地の校友を当該団体の主催する企画に招聘する場合、当該団体からの申請に基づき、当該団体に対して、招聘に

招聘地のエリア	招聘者1名あたりの補助金額（円）
北海道	30,000
東北	10,000
関東・甲信越	10,000
北陸	30,000
東海	30,000
近畿	30,000
中国	50,000
四国	50,000
九州	50,000
海外	50,000

伴う交通費・宿泊費の一部を補助します。

その他、校友会若手役員の被災地校友会総会への出席をはじめとする被災地の校友（校友会）訪問なども予定しています。

事業B 被災地の校友会による独自の取組みに対する支援

被災地の校友会が独自に復興に向けた取組みを行なう場合、当該校友会からの申請に基づき、経費を支援します。

事業C 義援金の募集の継続と推進、配分

被災された校友の方々に対するお見舞い金とすることを目的とした、義援金募集の継続と推進に取り組みます。また、受付状況の推移に伴い、適宜、配分を決定します。

ご協力いただいた個人、団体・グループの芳名を会報「りつめい」に掲載（個人については、氏名、卒業年、学部・研究科名を公表）させていただきます。ただし、「立命館大学校友会東日本大震災復興支援情報サイト」上では、団体・グループ名のみとし、個人については人数のみを公表します。

復興支援事業の枠組み以外でも、「オール立命館校友大会2011in京都」では、参加費および広告協賛金収入の10%を義援金へ充当することや、懇親パーティーでの東北産食材・飲料の使用などを予定しています。

復興支援事業の詳細については、「立命館大学校友会東日本大震災復興支援情報サイト」（9月26日オープン予定）にて、ご確認ください。

<http://www.hajimari.info/next>

（立命館大学校友会のホームページからアクセスできます）



立命館大学校友会東日本大震災義援金について

これまで（2011年3月24日～8月31日）に以下の皆様方から義援金をお寄せいただきました。

ご協力いただきました皆様に心よりお礼を申し上げます。

● 個人（卒業年・50音順）



個人情報保護のため、PDFではご協力いただいたみなさまのお名前を非表示としています。

● 団体・グループ（50音順）

愛知県校友会	尼崎市役所比叡会	応化会
大阪校友会	岡山県校友会	岐阜県校友会
機友会兵庫支部	経営学部社会人学生同窓会	軽音楽部 OB 会
香立会（建設会香川県支部）	上海校友会	スポーツフェロー
成学社立命会	体育会硬式庭球部 OB 会	体育会射撃部 OB 会
千葉県校友会	敦賀立命会	東京校友会
栃木県校友会	鳥取県東部校友会	土木 47 会
奈良県校友会	奈良県北部校友会（立命若草会）	南海立命会
新潟県校友会	西宮市役所立朋会	兵庫県校友会
兵庫県校友会西宮支部	福井県校友会	法学部同窓会
三重県校友会		

※卒業年、学部・研究科名は、校友会に登録されている情報に基づき記載しています。なお複数の学部・研究科を卒業・修了されている場合は、最終歴を記載しています。

2011 年度幹事会出席者（179 名）	2011 年度関西エリア新校友歓迎会参加者（145 名）
2011 年度関東エリア新校友歓迎会参加者（175 名）	2011 年度東海エリア新校友歓迎会参加者（145 名）

合計 3,203,162 円

2011 年 8 月 31 日現在

個人 684 名 776,169 円
団体・グループ 31 件 2,426,993 円

東日本大震災復興支援特別委員会の決定に基づき、以下のとおり義援金の配分を行ないました。

- 区 分：第一次配分
- 時 期：7 月 8 日送金完了
- 金 額：1,900,000 円
- 配分先と内訳：岩手県校友会 400,000 円、宮城県校友会 750,000 円、福島県校友会 750,000 円

義援金募集

被災された校友の方々に少しでもお役にいただくために、引き続き、全国の校友の皆様を対象に、義援金を募集しております。ひとりでも多くの皆様の温かなご支援・ご協力をお待ちしております。

■ 受付方法

募集の期間や口数・金額等は定めておりません。

<個人>

振込み手続きの際には、振込み人名の欄に、氏名、卒業年、学部名を記入（入力）してください。

例：「リツメイ タロウ S56 ケイザイ」

学部名の記入（入力）は、以下のとおりとしてください。

法学部＝ホウ	経済学部＝ケイザイ	経営学部＝ケイエイ
産業社会学部＝サン	国際関係学部＝コク	文学部＝ブン
政策科学部＝セイ	映像＝エイゾウ	
理工学部＝リコウ	情報理工学部＝ジョウリ	

<団体・グループ>

振込み手続きの際には、振込み人名の欄に、団体・グループ名を記入（入力）してください。

■ 芳名の公表

ご協力いただいた個人、団体・グループについては、芳名を、会報「りつめい」に掲載させていただきます。

匿名を希望される場合は、振込み手続きの際、振込み人名の欄に、氏名とともに「トクメイ」と記入（入力）してください。

例：「リツメイ タロウ トクメイ」

■ 受付口座は以下の3つです

【受付口座1】

京都銀行：二条駅前支店

（普）1020251（銀行コード0158：店番コード129）

口座名義 立命館大学校友会義援金口

同行本・支店間での振込みの場合、窓口・ATMともに振込手数料は無料となります。

【受付口座2】

京都中央信用金庫：三条支店

（普）1180144（銀行コード1611：店番コード006）

口座名義 立命館大学校友会義援金口

同金庫本・支店間での窓口利用振込の場合「義援金の振込である旨」お申し出いただくことにより手数料が無料となります。但し、ATM利用の場合は手数料が発生します。

【受付口座3】

みずほ銀行：京都中央支店

（普）2361818（銀行コード0001：店番コード473）

口座名義 立命館大学校友会義援金口

同行本支店間・みずほコーポレート銀行本支店からの振込みの場合、窓口・ATMともに振込手数料は無料となります。

なお、この義援金募集に関わって、本会では領収証等の発行は行ないません。予めご了承ください。

ご不明な点がございましたら、立命館大学校友会事務局（フリーダイヤル0120-252-094）までご連絡ください。

自らの経験を活かし、 被災地の障害者支援を行う。

垣内 俊哉 さん 経営学部4回生

バリアフリーコンサルティング会社「ミライロ」代表取締役社長
募金活動で集めた資金をもとに、被災地へ車いす304台を無償提供

※バリアフリーコンサルティング会社「ミライロ」について
2010年6月、垣内さんをはじめ、立命館大学経営学部のメンバーが中心となり株式会社ミライロを設立。バリアフリー関連事業を中心に、バリアフリーマップの制作、施設改善の提案、障害児の教育などを行っている。社名の「ミライロ」は「未来の色」に由来しており、未来という大きなキャンパスに、誰もが自由に自らの色（個性）を描いていける社会を創造したいという想いが込められている。



私は、骨が弱く折れやすいため、幼少期より車椅子を使って生活しています。震災発生後、「もし自分が被災していたら…」と考えると、被災地で車椅子の必要性が高まることを直感的に感じました。車椅子が津波に流されて不足するだろうという仮定から、一刻も早く車椅子を被災地に届けたいと思ったのが活動のきっかけです。

震災発生翌朝、国内の車椅子メーカーに片っ端から電話をして「被災地に車椅子を」という想いに賛同してくれる企業を探しました。その中で、兵庫県のメーカーが「是非、支援に協力したい」と破格の値段で、被災地でも使える頑丈な車椅子を提供してくださることになりました。関西の学生と行った募金活動や、お付き合いのある企業の支援により、6月末までに550万円の支援金が集まり、車椅子304台を被災地へ送り届けることができました。

時間が経つにつれて、被災地のニーズは変化しています。今は、被災者が避難所から仮

設住宅へ移っており、新しい環境にストレスを感じています。そこで、障害のある方やお年寄りの方が少しでも快適に生活できるよう、仮設住宅のバリアフリー化を行政と協力して進めています。今後の復興の過程において、被災地が身体の不自由な人のことも配慮したやさしい町となるよう、私の経験や知識が役立てばと思っています。

大学生活や「ミライロ」での事業を通して、多くの仲間や卒業生の方々と出会いました。私はまだ経験も浅く、できることは限られていますが、皆さんに支えていただきながら、想いを一つずつ形にすることができています。最初から“自分にはできない”と諦めるのではなく、“できること”を考え、発信し、行動する大切さを学んでいます。



6月に、東北で復興支援ボランティア活動を行っている東北芸術工科大学の学生とskypeを通じて交流する企画に参加。被災地ではまだまだボランティアの力が必要とされていること、東北芸術工科大学の学生の「関西の学生の力を貸してほしい」とい

う言葉に触れ、今回のボランティア活動に参加することを決めました。それまでは、自分にできることはなんだろうと考え、悩んでいただけだったのです。

この夏、8月19日から23日にかけて、スマイルエンジン山形（※1）の学生や一般の方と、石巻市で瓦礫撤去等の活動を行いました。7月初めにも訪れましたが、いまだ津波の影響は大きく、復興までの長い道のりを感じました。現地では、ボランティア活動以外にも、復興支援に関する意見交換会を開催。東北の学生からは「阪神・淡路大震災の時のボランティアの数は60万人、今回はまだ10万人（※2）。数だけを比較してもいけないが、人々の記憶から震災を風化させたく

ない」という声が。

関西に戻った今、石巻で自分が見てきたこと、感じたこと、東北の学生たちの声や想いを一人でも多くの立命館大学の学生に伝えることが自分の役割だと感じています。今後はボランティア活動を行う立命館の学生の写真を学園祭で展示したり、復興について考える企画をAPUと合同で行ったりする予定です。他にも、学内での報告会をはじめ、広く地域の方も対象とした復興支援シンポジウムなどを開催し、長期的に復興支援に取り組んでいきたいと思っています。

また、私自身ができる復興支援として、今取り組んでいる卒業研究とのつながりも考えています。太陽電池の技術に関わる微生物の研究を、大学院進学後も進め、将来的には、安全なエネルギー技術の実用化につながる成果を生みだし、日本社会に役立てていきたいと思っています。

（※1）スマイルエンジン山形について
山形大学、東北芸術工科大学の学生がボランティアリーダーを務める被災地でのボランティア活動。宮城県沿岸部の被災地で活動する日帰りボランティアバスを運営している。奥田さんは、事前研修として7月初旬にもボランティアバスに参加。
（※2）震災発生後1ヶ月間のボランティアの人数

震災を風化させないために。 長期的な情報発信・支援を行いたい。

奥田 華朱美 さん 生命科学部4回生

「スマイルエンジン山形」合同企画で、学生ボランティアリーダーとして被災地でのボランティア活動に参加



東日本大震災の 復興支援に関わる学生たち

東日本大震災後、学生たちは震災支援活動を行いたいと考えている学生の情報共有・交流の場である311+Rnet（立命館大学震災支援活動情報ネットワーク）を中心として、ボランティアや義援金募集活動など、様々な取り組みを行っています。ここでは、8月までの学生たちの取り組みの一部をご紹介します。

被災地ボランティアとボランティア送り出しの 具体化に向けた取り組みの実施

震災直後から、学生たちは被災地へボランティアに向かっています。また、サービスマーケティングセンター・学生部を中心に被災地へのボランティア派遣の具体化に向けたさまざまな取り組みが展開されています。

●スマイルエンジン山形と連携したボランティア活動

8月19日（金）から23日（火）にかけて、石巻市でのがれき撤去・ヘドロ撤去作業、仮設住宅住民へのケア等の活動を行いました。この取り組みには、立命館大学から19名、立命館アジア



太平洋大学から6名の学生が参加。22日（月）には、山形大学、東北芸術工科大学の学生たちと復興について考えるシンポジウムを実施しました。

●気仙沼・暮らしのしませ隊が被災地を訪問

8月16日（火）から23日（火）、「落語研究会」、「美術研究部」、「出前ちんどん」など、人を楽しませる技を持つサークルメンバー26名が、宮城県気仙沼市を訪問し、お祭りのお手伝いや子どもたちの遊び相手などのボランティアを行いました。



311+Rnetカフェ

衣笠キャンパス第一体育館のSUBWAYにある311+Rnetカフェ。ここで東日本大震災の被災状況やボランティア活動の情報などの展示を行っています。また、オープンに先立って、カフェに展示する日本地図のペイントや、複数のグループで復興支援に向けたディスカッションを行いました。



「ミンナDEカオウヤ」カオウヤ京都プロジェクト



津波被害により市場が流されてしまった被災地の商品を都市部で販売し、被災した福祉施設の経営、障害のある方の収入を支えようという取り組みが、衣笠キャンパスで行われました。

聴覚障害学生支援PC テイクボランティア

6月から日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワークからの要請に応え、東日本大震災で被災した宮城教育大学に対して、月・火の5限の授業で遠隔地からのPCテイクによる情報保障支援を提供しました。

PCテイク（パソコンテイク）とは聴覚障害学生支援のひとつ。2人1組で先生や講生の発言、周囲の音声情報を要約してパソコンに打ち込み、聴覚障害学生に伝えるもの



他にも、夏期休暇中のボランティア送り出し、講演会、7.11キャンドルナイトやチャリティフリマ、東北名物の芋煮を囲んで復興支援に関するディスカッションを行うなどのさまざまな企画が実施されています。学生だからできること、関西からできることを学生たちが実践しています。

● 311+Rnet ウェブサイト <http://www.ritsumei.ac.jp/rs/311plus/>

● 311+Rnet Facebook <http://www.facebook.com/pages/311Rnet/213900625288342>



立命館の環境への取り組み

わたしたちの暮らしが便利になる一方で、次々とわき起こる環境問題。

地球環境の『現代病』とも言える環境問題に対して、

独自のアプローチで取り組む立命館の研究者や校友、学生たちの活動についてご紹介します。



微生物の力で環境浄化

今中 忠行 生命科学部教授

Tadayuki Imanaka

水質汚染や土壌汚染にごみ処理問題。これら日々差し迫る環境問題に、微生物の力を利用して立ち向かおうと研究を進めるのが、今中忠行生命科学部教授だ。今中教授が進める微生物を使った環境浄化研究の中でも、特に脚光を浴びているのが「ナノバブル発生装置」。この装置による水質改善効果がいま、注目を集めている。

ナノの泡で微生物を活性化して水質改善

「ナノバブル」とは、ナノメートル、つまり10億分の1メートルレベルの大きさのごく微小な気泡のこと。微生物の世界がマイクロメートルレベルなので、ナノはさらに小さな世界ということになる。今中教授の研究グループでは、独自の技術でこの泡を作る装置を昨年2月頃に開発。同年春頃から様々な実験を開始した。調査の結果、水中でナノバブルを発生させると、微生物の活動が活発化することがわかった。また、琵琶湖の南湖にたまっているヘドロを用いて実験したところ、ナノバブルを微生物に供給した時だけヘドロが分解され、水質改善効果が見られたという。

ヘドロの底は酸素不足の状態になっている。酸素のない状態では、ヘドロを分解する好気性の微生物は死ぬか活動せず耐えているかで、一方、嫌気性の微生物は活動が活発になる。すると嫌気性の微生物の活動によって放出される硫

化水素で、好気性の微生物が死滅してしまうため、ヘドロは分解されずにますますたまってしまう。

南湖のヘドロを使った調査では、琵琶湖の底にヘドロを分解する微生物が存在することがわかった。酸素が十分にあれば環境を整えさえすれば、外部から何も加えなくてもヘドロは分解されるということだ。マイクロメートルレベルの泡をいくら水中へ送ってもヘドロは分解されない。しかし、ナノバブルほど小さい泡になると水に滞留して溶けやすくなり、水流に乗って酸素を効率よく供給できるので、ヘドロの奥底まで酸素を行き渡らせることができる。酸素が与えられればヘドロの中の好気性の微生物は活発化し、ヘドロを分解する。好気性条件になると、微生物は有機物を炭酸ガスにまで分解してしまうので、水に何も残らず、きれいになる。

『3A』のものづくりは、ふるさとへの感謝から

今中教授のグループが開発したナノバブル発生装置は、低コストで、安全に、安定してナノバブルを発生できるという点で従来のものと一線を画している。「電気代などのコストはどんなに多く見積もっても従来かかる費用の10分の1程度。環境浄化に利用するものだから、安価、安全、安定の『3A（スリーエー）』を満たしたもののづくりでなければいけない」。

BKC内の自然池で実証実験を行なっているナノバブル発生装置



profile

1969年大阪大学大学院工学研究科博士課程中退。
工学博士（大阪大学）。
大阪大学、京都大学大学院教授などを経て、2008年より立命館大学総合理工学院・生命科学部生物工学科教授（現職）。
専門は、環境バイオテクノロジー、極限環境微生物学。
2003年アメリカ微生物学・アカデミーフェロー。2004年第46次南極地域観測隊。
国際環境バイオテクノロジー学会（ISEB）会長、日本環境バイオテクノロジー学会（JSEB）会長などを歴任。
2010年紫綬褒章受賞。



このナノバブル発生装置を使って、高速かつ大幅にコストダウンして食品工場などの排水処理を可能にするシステムをほぼ構築し、将来の実用化を目指している。

装置開発のきっかけは、「立命館の教授になったからと言ってもいい」と今中教授。「BKCにある研究室の窓から琵琶湖が見えるのですが、毎日眺めていると琵琶湖に愛着が湧いてきて『なんとか琵琶湖をきれいにしたい』と思うようになって（笑）。ふるさとに対する感謝の気持ちみたいなものです。初めはいろんな微生物を分離して水の浄化に役立てようと試してみましたが、空気以外は外からなにも持ち込まず、琵琶湖由来のものを活かすという方針を固め、ナノバブル発生装置を開発することにしたのです。何も加えないから『理想系』。これしか世界を救うものはないと思っています」。

世界中で応用可能な技術に

今後は、琵琶湖の環境運動を推進するNPO「びわ湖トラスト」と協力し、琵琶湖上に装置を設置して実証実験を進める予定だ。現在横浜で、海水の浄化も実験している。これらの実験で効果が立証されれば、世界中で応用することも夢ではない。「淡水、海水を問わず水質を改善し、生命活動を活性化して生物の成長を促進させるなど、多岐にわたって利用出

来る技術。今はまず、琵琶湖の南湖のヘドロを解消することが目標です。400万年の歴史を持つ古代湖である琵琶湖の固有種を守るためには、琵琶湖に本来あるものの力で水を浄化して、古代と似た環境にするしかない。ヘドロが蓄積していく速度よりも、分解する速度のほうが早ければ、1年では無理でも10年経てばほとんどがきれいになる。長期戦でも、琵琶湖を愛する方々に納得してもらいながら改善していくことが大切です。1400万人の水がめである琵琶湖を守り、この水の恵みを受ける近畿一円の方々に喜んでもらうのが夢ですね」。

無限の可能性を秘めた「小さな仲間」

微生物の力で様々な環境浄化に取り組む続ける今中教授。油類による汚染土壌の浄化技術では、日本で初めて国の認可を受けた。「この技術で今年3月、九州のある土壌を浄化し終えました。東日本大震災の後、被災地では重油などによる土壌汚染や、津波による塩害、魚の腐敗による悪臭被害などが広がっているといいます。近いうちに被災地の土壌の改善にもこの技術を役立てたい」「微生物は悪く言われることが多いけれど、実は世の中の役に立っているものの方が多い。こんなに面白く、無限の可能性を秘めた微生物に、きわめて愛情を感じています」。

新しい車社会を目指して EVで南極点到達に挑戦

自動車環境問題NGO「ZEVEX」代表
4WD電気自動車冒険家

鈴木一史 さん（'89法）

Kazushi Suzuki



「轍（わだち）すら残さない冒険をしよう」。鈴木さんが代表を務める自動車環境問題NGO「ZEVEX」の活動テーマだ。

風車やソーラーパネルといった自然エネルギーによる電力のみを動力源にした、自作の4WD（四輪駆動）EV（電気自動車）で冒険を続ける。「車は現代化を支える高速移動の象徴。ストックのエネルギー（＝化石エネルギー）に依存する車社会から、フローのエネルギー（＝自然エネルギー）で成立する車社会へと変わらなければならない」。冒険の目標は南極点到達だ。「南極点は地球上でもっとも過酷な環境。車にとって一番悪い条件の下で実際に走らせてみせることで、自然エネルギーの可能性を逆説的に証明したい」

幼い頃からの「冒険好き」。中学生の頃は鉄道やヒッチハイクで、高校時代はオートバイで日本中を旅した。大学生になると、司法試験の勉強をしながら4WDで野山へ出かけるように。整備のノウハウは独学で身につけた。

車が大好きで、4WDが大好き。一方で自然を愛する気持ちも強かった。卒業後、東南アジアでのレースに熱中していた頃から、これからは



間宮海峡横断に挑戦した「ARK-1」号。
ソーラーパネルと風車を使って充電中。
（写真＝ZEVEX提供）

環境負荷の小さな車を社会が求めるようになると直感的に思っていた。4WDレースが「自然破壊」と非難される風潮への反発から、98年、レー

ス仲間たちに呼びかけて4WDの電気自動車による冒険団体「ZEVEX（Zero Emission Vehicle Expedition）」を立ち上げた。

翌年には4WDEVの製作を開始。それぞれに仕事を持つメンバーが休日に集まって製作を重ね、これまでに6台を完成させた。メンバーは、製作と平行して電気自動車の科学を学習し、走行技術の鍛錬や体力づくりも欠かさない。

05年にはロシア・サハリン州に遠征し、風車とソーラーパネルで発電させた電力のみで-30℃以下になる凍った間宮海峡横断に挑戦した。成功には至らなかったが、南極走行へ向けてのデータを取ることができ、有益な経験となった。

07年からはプラグインハイブリッドカー（PHV）による日本縦断にも挑戦。12年に迫る京都議定書の約束期限を控えて、PHVの有効性を示すのがねらいだ。「電気自動車の効用を訴えているだけではもう期限に間に合わない。PHVの方がCO₂削減目標の達成に早くつながる」。昨年は、TOYOTAの「プリウスPHV」を借り受けて無給油での日本縦断を成し遂げ、注目を集めた。

「市民レベルから可能性を提示することで、今の車社会の考え方に変革を起こしたい」と鈴木さん。車と人との新しい未来を胸に、南極挑戦へのスポンサーを探す日々だ。

10月8日～11月27日、滋賀県東近江市の「西堀榮三郎記念探検の殿堂」でZEVEXの冒険に使われる機材の展示やEV試乗会を行なう。問い合わせは、同館（0749-45-0011）へ。

「デザイン+エコ」で誰もが やってみたくなるような活動に

エコライフデザインサークル 「Reco.lab (レコラボ)」

‘reduce’, ‘recycle’, ‘ecological’, ‘collab’ …。立命館大学BKCエコライフデザインサークル「Reco.lab (レコラボ)」の名前には、こんな意味の数々が込められている。活動理念は「オシャレに、かっこよく、自然を守る」。「環境活動は『大変そう』『汚そう』などマイナスのイメージを持たれがちで、見た目で損をしていることが多い。見た目=デザインを改善することで、そんなイメージを変えていくことができるのではないのでしょうか」と代表の近藤綾さんが話すように、「環境」に「デザイン+α」することによって誰もがやってみたくなるような活動にすることを目指している。‘Thinking now for singing future (歌うくらいハッピーな未来のために今を考える)’を合言葉に、04年に発足された。

これまでに、大学や近隣企業の食堂から出る廃食油を回収して燃料を作り、駅から大学までの路線バスの運行を実現。リサイクル資源を使ったオリジナル商品の開発・販売なども行ってきた。昨年の全国大学生環境活動コンテストでは2度目の入賞も果たした。

現在メンバーは19人。「これをしなくてはいけない」という決まりは一切なく、メンバーそれぞれが興味のあること、取り組みたいことに挑戦する。そんな中、昨年とりわけ力を入れて取り組んだのが、「R∞P (ループ=輪)」という名のプロジェクトだ。食料と油を中心とした資源の循環を学内に作るのがねらいで、キャンパス内で野菜類を栽培・収穫し、学食に提供して調理に使ってもらう。R∞Pでは、菜の花で資源循環シ

レコラボのコアメンバー。左から佐藤理子さん、代表の近藤綾さん、金本紗季さん、佐竹孝さん。



ステムを作る「菜の花プロジェクト」の確立や、学内の緑地面積の増加にも努める。そのほかにも、現在ゴミの分別率上昇を目指して、レジ袋を断ると生協カードのポイントが付与されるシステムを計画中で、これにちなんだゴミ廃棄量などに関する展示会も予定している。

学内のカフェなどで飲み物を購入する際、タンブラーを持参すると料金が割引される「stasta (スタスタ)」は、プロジェクトとして中断した後も学内で定着した。取り組みは、学生たちの生活の中に溶け込みつつあるようだ。「身近なことからエコが身に付いていけば。ちょっとずつ環境に関心を持ってもらい、学内の習慣的な仕組みを変えていきたい」と近藤さん。同世代の共感を呼ぶ「エコ」をキャッチして、これからもレコラボ色の提案を続けていく。



R∞Pの取り組み。昨年は大根約1kg、白菜約2kgを収穫した。

京都府

京都校友会会長

布垣 豊さん（'61法）

2002年11月就任

学生時代、友人と出かけた海水浴のひとコマ（写真右が布垣会長）



昨年の総会で。会長挨拶の様子



立命館での思い出を教えてください。

布垣 ● 私は、中学から大学までの青春期の10年間を立命館で過ごしました。中・高の友人との絆は大学に行ってからとても強く、仲間に恵まれ、友達には不自由しませんでした。一方で、同じ世界の中で成長してきた「井の中の蛙」でもあり、別の高校から進学してきた同級生と友人関係を築くのはあまり得意ではなかった気がします（笑）。私にとって学生時代は、人生の中でも一番激しく、インパクトのある時代。今

よりも大らかだった当時の社会に見守られ、非常に楽しい日々を過ごしました。立命館での友人との交流は今もしっかりと続いています。

学生の頃には、将来自分が金融関係の仕事に就くなど人生設計のどこにもなく、とあるご縁から就職した信用金庫で、こうして何十年と勤続するだろうとは夢にも思いませんでした（笑）。私が今の仕事を長く続けられたのは、立命館で出会った友人たちのおかげ。京都で、地域に根ざした仕事に就いている私にとって、人間関係を作る上で立命館での一貫教育を受けたことは大変良かったと思っています。

京都校友会会長だけでなく、本部副会長、清和会（立命館小学校・立命館中学校・高等学校同窓会）会長も兼務され、校友会活動の発展に多大なご協力をいただいています。

布垣 ● 当会は会員数が多く、会員が様々な職種に点在しています。会員は、当会だけでなく、大学本部校友会の会員であるとともに、清和会の会員でもある場合が多いのが特徴。これらすべての会の活動に参加するには、日常のかなりの時間を費やすことになり、働き盛りの若い世代ほど活動から遠ざかってしまうのが難点なのです。また、全国の校友大会や、同級生ごとの集まり、あるいはスポーツOB・OGの集まりなどに参加すれば当会に参加しなくてもいいと考える人が多いというのも実情です。母校

があまりに身近にあるがゆえの傾向かもしれませんが、当会で単独の事業をするというのはなかなか難しいのが現状です。

私がこうして校友会活動に深く関わっているのは、立命館への「恩返し」の気持ちから。学生時代の良い思い出がたくさんあるからこそ、何か立命館の力になれることをという思いで活動しています。校友にとって、校友同士の交流が大事なことは間違いありませんが、最終的には現在の立命館が良くなることが校友会活動の最大目的。教職員のみなさんにはその思いを謙虚に受け止めて、在学中にも立命館に対する愛着心を育てられるように、学園としてすべきことに取り組んでいってもらいたいですね。

「オール立命館校友大会2011 in 京都」の開催も目前ですね。

布垣 ● 「和をもって尊し」とし、実行委員となっている近畿の府県が連携して、一人でも多くの校友が足を運んでくれる大会に。参加すればきっと懐かしい学生時代の友人に会える、そんな「人の集まる会」にしたいですね。

これからも、校友大会が毎年各地を巡回して開催されるシステムを大事にしていきたいと思っています。京都から各地へ行って、OB・OGと交流を深めるのは大切なこと。そうして共に何かを成し遂げた仲間との気持ちはずっと変わることなく、達成できたという誇りはいつまでも心の中に残るはずです。



布垣会長

京都校友会

設立:1957年
会員数:約30,240名



kyoto-design.jp

英国

英国校友会会長

一ノ瀬 俊郎さん（'83法）

2004年6月就任

今年5月、ロンドンで開かれた
「設立10周年&総長を囲む会」の様子



夏のビアパーティーで



どのような学生生活を 過ごされていたのでしょうか。

一ノ瀬 ● 私が学生であった頃は、まだ広小路学舎があった時代。今のキャンパスのようにお洒落な感じではなく、狭くて暗い感じでしたが、その古い造りが印象に残っています。海外に興味があって、入学時はESSに入部したのですが、英語能力がない自分には合わない気がしてやめてしまいました。学業のかたわら、祇園祭や時代祭のアルバイト、遺跡発掘のアルバイトなど、京都らしいアルバイトもしていました。発掘のアルバイトは、当時住んでいた「消えた都」長岡京のロマンが感じられ、歴史の勉強になるとともに、宝探しのようにとても楽しかったですね。

当時、民間企業に就職する先輩は少なく、私も公務員試験や司法試験に向けて勉強をしていました。ゼミでは、先生の家遊びに行ったり、ごちそうになったりもしました。卒業後は京都府庁へ就職し、7年後にイギリスに渡りました。

ESSにいた時は、海外に関係することは自分には向いていないと思っていたのに、いま私はこうして海外にいる。ゼミは不動産が専門でしたが、当時は別の方向を目指していました。けれど現在、私は不動産関係の仕事をしているのです。立命館での経験は、結果的に今につながっていると思っています。

英国校友会の状況は？

一ノ瀬 ● 英国校友会の設立は2001年。初代会長は3年で帰国され、2004年頃に私が引き継ぎました。設立時はイギリスにいる校友の数は少なく、インターネットもまだ普及していない時代。校友会の集まりのお知らせをコミュニティーペーパーに出しても、5人ぐらいがやっと集まるぐらいでした。しかしその後、ネットを通して呼びかけをするようになってから、ネットに馴染みのある若手参加者が増え、20人ぐらいが集まるようになりました。

会長を務めて8年。当会の会員は、駐在員やイギリス人と結婚された方、大学教授や留学生が主ですが、近年は特に学生と若い駐在員の方がたくさん参加してくれるようになり、会の雰囲気若返りしています。

長年にわたる海外でのご経験から、 後輩たちへのメッセージを。

一ノ瀬 ● 当会は、今年3月に10周年を迎え、記念校友会を開催することが出来ました。仕事の都合で駐在している方や留学生はほとんどが帰国してしまうので、活動の核になるメンバーが今後増えてくれるのが願いです。それぞれの状況変化が速いため、懇親会を越えたものをするというのは難しいのですが、それでも校友が応援を必要とするならば、当会でもできる限りのことをしたいと思っています。

今の日本の若い人は、生きがいや、やりがい、あるいは人に貢献できるかどうかとといったところで仕事を求めながら、それを見つけれないまま終わってしまう人が多いのではないのでしょうか。日本は豊かな国なので、良くも悪くも日本人は落ち着いている。でも、もっとがむしゃらに仕事を求める姿勢も必要だと思います。今は昔よりも起業するのが難しい時代だと思いますが、若いからこそ海外へ出て、起業してみるという選択肢もある。もっと熱気のある人が出てきてくれることを楽しみにしています。



一ノ瀬会長

英国校友会

設立:2001年
会員数:35名
懇親会時期:季節ごと、年3~4回
総会参加者数:約20名



都道府県校友会 / 海外校友会

- ◆ 6/11 福岡県校友会新人歓迎会“立門会”
(52名・博多表邸)
- ◆ 6/18 山梨県校友会総会
(37名・古名屋ホテル)
- ◆ 6/18 奈良県校友会総会
(199名・橿原ロイヤルホテル)
- ◆ 6/18 北九州校友会青年部新人歓迎会
(37名・セカンドニューヨーク)
- ◆ 6/25 秋田県校友会総会
(21名・秋田ビューホテル)
- ◆ 6/25 滋賀県校友会総会
(50名・ホテルボストンプラザ草津)
- ◆ 6/25 高知県校友会総会
(54名・ホテル城西館)
- ◆ 7/2 岩手県校友会総会
(22名・ホテル東日本盛岡)
- ◆ 7/8 「校友の集い」大阪校友会年次大会
(600名・スイスホテル南海大阪)
- ◆ 7/9 広島県東部校友会新入会員歓迎会
(福山コロナワールド内ボウリング場)
- ◆ 7/9 香川県校友会総会
(230名・ホテルパールガーデン)
- ◆ 7/23 青森県校友会総会
(25名・ウェディングプラザ アラスカ)
- ◆ 7/23 徳島県校友会総会
(55名・阿波観光ホテル)
- ◆ 7/23 愛媛県校友会総会
(50名・国際ホテル松山)
- ◆ 7/24 岡山県校友会総会
(150名・アークホテル岡山)



立門会



山梨県校友会



奈良県校友会



滋賀県校友会



岩手県校友会



大阪校友会

- ◆ 8/5 ハノイ校友会 (ハノイ衣笠会)
(15名・HOAHANOI)
- ◆ 8/6 沖縄県校友会総会
(45名・ホテルロイヤルオリオン)
- ◆ 8/22 シカゴ校友会
(8名・Yu's Mandarin)
- ◆ 8/23 ロスアンジェルス校友会
(7名・NIWATTORI)
- ◆ 9/3 広島県校友会総会
(130名・ホテルグランヴィア広島)
- ◆ 9/3 熊本県校友会総会
(56名・熊本全日空ホテルニュースカイ)



青森県校友会



岡山県校友会

地域校友会

- ◆ 6/11 東広島地区校友会総会
(25名・賀茂泉館)
- ◆ 7/2 長野県校友会上伊那地区会総会
(20名)
- ◆ 7/3 八幡支部「えんじの会」総会
(60名・松花堂美術館別館)
- ◆ 7/9 山口周南地区校友会総会
(48名・ホテルサンルート徳山)
- ◆ 7/24 駿府会総会
(50名・クーポール会館)
- ◆ 7/24 福知山校友会設立総会
(60名・サンプラザ万助)
- ◆ 7/30 愛媛県校友会東予周桑支部総会
(20名・御料理岩城)
- ◆ 8/27 丹後地区校友会20周年記念総会
(30名・矢畑公民館)
- ◆ 9/4 湘南クラブ「ランチ会」
(42名・鎌倉芸術館内レストランパウゼ)



えんじの会



山口周南地区校友会

校友会・グループ インフォメーション

校友会・グループ	日時	会場	問い合わせ先
哲学同窓会定期総会	10/1(土) 16:00	アークホテル京都	志磨 慶子 (職) 075 (813) 8464
建設会岐阜県支部 (岐阜県建設会) 総会	10/14(金) 18:00	ホテルリソル岐阜	野崎 勝己 (職) 058 (251) 6105
茨城県校友会総会	10/16(日) 13:00	水戸三の丸ホテル (予定)	木村 幸夫 029 (252) 8401
千葉県校友会総会	10/22(土) 13:00	船橋グランドホテル	辻 信雄 043 (496) 6557
高槻・島本校友会総会	10/22(土) 未定	たかつき京都ホテル	辻石 泰之 072 (687) 7438
宮城県校友会総会・懇親会 大学女子駅伝慰労・懇親パーティー	10/23(日) 15:00	仙台ガーデンパレス	柏原 晋 022 (286) 9928
オール立命館校友大会2011 in 京都	10/29(土) 12:00	ホテルグランヴィア京都	校友会事務局 075 (813) 8216
金太郎スキー同好会OB会創部40周年記念式典	10/29(土) 12:00	京都ブライトンホテル	小牧 耕治 daragonsakura@w6.dion.ne.jp
京都校友会総会	10/29(土) 14:00	ホテルグランヴィア京都	校友会事務局 075 (813) 8216
兵庫県校友会総会	10/29(土) 16:00	ホテルグランヴィア京都	岸本 真之 (職) 078 (222) 7111
和歌山県校友会総会	10/29(土) バス車内	ホテルグランヴィア京都	山田啓二郎 0734 (71) 4911
産業社会学部校友会総会	10/29(土) 11:00 予定	ホテルグランヴィア京都	産業社会学部事務局 075 (465) 8175
経済学部同窓会総会	10/29(土) 11:00 予定	ホテルグランヴィア京都	経済学部事務局 077 (561) 3940
ESS OB会	10/29(土) 16:30	ホテルグランヴィア京都	事務局アドレス ress_ob@yahoo.co.jp
産社1期生Bクラス会	10/29(土) 17:00	ホテルグランヴィア京都	猪早 嘉雄 090 (7756) 6165
機友会関東支部総会	10/30(日) 13:15	清澄庭園内「大正記念館」	古城 敏幸 029 (873) 2710
福岡県校友会総会・懇親会	11/5(土) 17:00	ソラリア西鉄ホテル	大成印刷 (株) 福岡県校友会事務局 (職) 092 (472) 2621
大分県校友会総会・懇親会	11/5(土) 17:00	大分センチュリーホテル	佐藤 昌彦 097 (521) 5392

職域校友会

- ◆ 6/8 高槻市役所槻立会総会
(54名・アンシェルデ・マリアーヂュ)
- ◆ 6/9 大阪市役所校友会 OB有志クラブ設立例会
(11名・ヴィアーレ大阪)
- ◆ 6/23 立命京滋観光の会総会・交流会
(40名・おごと温泉びわ湖花街道)
- ◆ 6/24 スズキ(株)立鈴会復興『立鈴会』
(100名)
- ◆ 6/29 堺市役所わだつみ会総会・歓送迎会
(60名・「大地の恵」堺東店)
- ◆ 7/5 金沢市役所立林会
(30名・金澤玉寿司)
- ◆ 7/15 八尾市役所「立八会」
(45名・がんこ平野店)
- ◆ 7/16 全国行政書士立命会総会
(45名・朱雀キャンパス)
- ◆ 7/23 阿波銀行新入行員歓迎会
(23名・ホテルグランドパレス)
- ◆ 7/27 尼崎市役所比叡会総会
(35名・都ホテルニューアルカイク)
- ◆ 7/28 (株)イトーキ職域校友会
(14名・東京キャンパス～周辺飲食店)
- ◆ 8/2 奈良市役所立命会総会
(40名・公共の宿「猿沢荘」)
- ◆ 8/3 神戸市教職員「朋命会」総会
(30名・老房神戸店)
- ◆ 8/25 池田泉州銀行立命会
(98名・スイスホテル南海大阪)
- ◆ 8/27 立命館学園会計人会総会
(50名・京都ホテルオークラ)
- ◆ 8/27 立命同窓会(大阪市高校の会)総会
(15名)



高槻市役所槻立会



大阪市役所校友会



堺市役所わだつみ会



池田泉州銀行立命会



尼崎市役所比叡会

学部・学科校友会

- ◆ 6/18 経営学部校友会総会
(50名・からすま京都ホテル)
- ◆ 6/25 法学部同窓会総会
(100名・大阪新阪急ホテル)
- ◆ 7/2 国際関係学部校友会総会
(東京ステーションコンファレンス)
- ◆ 7/2 独立研究科同窓会
(85名・衣笠キャンパス)
- ◆ 7/29 建設会滋賀支部(滋賀建設会)総会
(45名・琵琶湖ホテル)

サークルOB・OG会 / その他の会

- ◆ 5/19 昭和33年卒化学科同期会
(19名・がんこ高瀬川二条苑)
- ◆ 6/11 リコネクト関西新校友歓迎会
(150名・ゆめ八道頓堀店)
- ◆ 6/11 リコネクト関東新校友歓迎会
(175名・TOKYO MAIN DINING)
- ◆ 6/18 立命館アジア太平洋大学校友会総会
(70名・銀座日光ホテル)
- ◆ 7/2 法学部商法塩田ゼミOB会
(33名・京都ホテルオークラ)
- ◆ 7/30 中文8D総会
(25名・末川記念会館)
- ◆ 8/13 憲法研究会OB会例会
(20名・花伝)
- ◆ 9/3 市川会
(15名・リーガロイヤルホテル京都)



昭和33年卒化学科同期会



リコネクト関東新校友歓迎会



法学部商法塩田ゼミOB会

校友会・グループ	日 時	会 場	問い合わせ先
鳥取県東部校友会総会	11/11(金) 18:30	しいたけ会館対翠閣	西垣 佳則 (職)0857(30)0555
山口県校友会総会	11/11(金) 18:30	湯田温泉ホテル松政	中村 史朗 090(7971)4141
北摂校友会	11/11(金) 18:30	ホテルアイボリー	湯川 正之 (職)06(6844)2001
埼玉県校友会総会(彩の国・校友の集い)	11/12(土) 12:00	銀座アスター川口賓館	立命館東京キャンパス (FAX)03(5224)8189
鹿児島県校友会総会・懇親会	11/12(日) 15:15	サンロイヤルホテル	川窪 宏一 (職)099(253)3336
神奈川県校友会の集い(総会・懇親会)	11/13(日) 10:30	崎陽軒本店	長谷川貞栄 045(933)4662
愛知県校友会総会 イヤーズミーティング	11/19(土) 17:00	名鉄グランドホテル	加藤 智大 (職FAX)052(937)1250
北九州校友会創立40周年記念総会	11/19(土) 17:00	リーガロイヤルホテル小倉	初村 雅敬 090(8298)3703
立命館清和会100周年同窓会	11/19(土) 15:00	ウエスティン都ホテル京都	立命館清和会事務局 075(645)1051
宇部小野田校友会総会	11/19(土) 18:00	ホテル河長	森島 正信 (職)0836(29)4725
鳥取県西部校友会総会	11/19(土) 18:30	米子全日空ホテル	大野木昭夫 (職)0859(32)3308
東京校友会総会	11/20(日) 11:00	アンフェリシオン	立命館東京キャンパス 03(5224)8188
広島県東部校友会総会	11/20(日) 12:00	福山ニューキャッスルホテル	島田 斉 (職)084(922)6361
島根県校友会総会	11/26(土) 12:00	サンラポーむらくも	田中 安信 0852(27)2903
群馬県校友会総会	11/26(土) 13:30	ホテルメトロポリタン高崎	東宮 春生 0277(73)6110
長崎県校友会総会	11/26(土) 16:00 予定	ホテルニュー長崎	山口 孝司 (職)095(825)3795
石川県校友会総会	12/10(土) 17:00	金沢ニューグランドホテル	木場 密雄 076(243)5806

平成23年度 香川県校友会総会・懇親会

2011年7月9日(土)



>> H.18年以降に卒業した若手16人が、「カンバイ!」



>> ジェンベ奏者の三好東曜さん



>> いつの間にか必死。「百ます計算」



>> 「グレーター立命」の大合唱



>> 会場では東日本大震災支援の募金活動も



>> ばんばさんらのスペシャルライブ



>> 歌と共に懐かしい思い出も甦る



>> ばんばんのサインは誰の手に?!



>> じゃんけんぽん!!

7月9日(土)、高松市のホテルパールガーデンで「平成23年度香川県校友会総会・懇親会」が開催された。同校友会創始以来最大規模の230名が参加し、約3時間半にわたる会は盛況を極めた。

冒頭、東日本大震災の犠牲者へ一同黙祷。続いて、県下でいち早く義援金を集めた高松市役所校友会に感謝状が贈呈された。村上良一会長('58法)が「今年は初参加が40人を越え、『先の長い方(=若手校友)』がたくさん参加してくれた。今日は、年の差があっても対等な気持ちで楽しんでいってもらいたい」と挨拶し、開会を宣言した。

会は、西日本放送アナウンサーの岸たけしさん('95産社)の総会司会で進行。本郷真紹立命館副総長、林幸雄校友会本部副会長からの祝辞や、穴吹学事務局長('71経営)による会務報告に続いて、目玉イベント、ばんばひろふみさん('73経済)のスペシャルミニライブに。ばんばさんが立命館高校時代に結成したバンド「VELVETS」のメンバー山下勇さん('72理工)、辻好一さんと演奏する数々の懐かしいナンバーに、会場は大いに沸きあがった。

ステージを降りたばんばさんらが着席すると、若手校友による

「カンバイ!」の音頭で懇親会がスタート。各テーブルで和やかな歓談が繰り広げられる中、三好東曜さん('02政策)のジェンベ演奏や、山下天徳さん('71法)の「おもしろ健康ゲーム」、缶ビールを賭けた「百ます計算」テーブル対抗戦や、「ばんばん」のサイン獲得を目指したじゃんけんゲームなど、参加者が一体となって楽しめる大小の企画が次々と進められた。フォークソングの大合唱で最高潮の盛り上がりそのまま、最後は全員一円となってグレーター立命を熱唱。興奮の中、会は幕を閉じた。

初参加の横田結花さん('10産社)は「先輩たちも気さくに話してくださり、ライブやゲームも楽しかった。『良かったよ』と後輩にも伝えたい」と笑顔。常連参加の田村晴彦さん('66文)は「いつ参加しても校友が世代を越えて一緒に楽しめる催しが考えられている。若い人たちとも協力しながら、これからももっとこの会を盛り上げていきたい」と話していた。

総会開催中、会場では東日本大震災復興支援募金活動が行なわれました。当日寄せられた62,045円は、これまでに同県校友会に寄せられた義援金と合わせて、校友会本部を通じて被災地の東北3県校友会に送金されました。

「いのちの政治家 山本孝史物語」「兄のランドセル」朗読劇のご案内

国会において、がん闘病中であることを告白し、自らの命を削りながら命を守る法案『がん対策基本法』と『自殺対策基本法』の成立に力を尽くした校友政治家 故 山本孝史さん（'72 産社：2007 年 12 月に惜しまれつつ逝去）を偲んで、12 月 15 日（木）18 時 30 分より大阪市内天満橋のドーンセンターにて、ゆき夫人の著書「いのちの政治家 山本孝史物語『兄のランドセル』（朝日新聞出版）」に基づく朗読劇とトークショーが開催されます。



国会演説中の故山本議員

第一部朗読劇はゆき夫人自ら脚本を担当、俳優田中健さん、ラジオパーソナリティー鈴木美智子さんら山本さんと縁のある出演者が朗読を行ない、阪神・淡路大震災の被災者のケアなどにともに取り

組んだ伍芳さん（'96 産社）が、古箏の演奏で劇を彩ります。続く第二部トークショーは、嘶家の笑福亭松喬（しょきょう）さん、あしなが育英会の玉井義臣会長、ゆき夫人がパネリストとして登場し、生前の山本さんについて大いに語ります。

ゆき夫人は「山本が存命であったなら、今回の震災においても被災者のケアを一番に考え、現地や関係機関を飛び回ることでしょう」と語りつつ、「今回の朗読劇やトークショーは、山本を知る人だけでなく、多くの方にご来場いただき、一緒に命の大切さについて考えたい、また、将来政治家を目指す若い方々にも是非、観ていただきたい」と呼びかけています。

この朗読劇の詳細、チケット購入方法等については、立命館大学校友会のホームページ（<http://alumni.ritsumei.jp/>）か、山本孝史さんのホームページ（<http://www.ytakashi.net/>）をご確認ください。チケットぴあにおいてもチケットを購入することができます。TEL 0570-02-9999（Pコード619-585）。



「兄のランドセル」書影

2011 年 12 月 15 日（木）
18 時 30 分開演
大阪ドーンセンター（7F ホール）
入場料 3,000 円
（全席自由 / 定員 500 名）

濱川圭弘・元立命館副総長が瑞宝中綬賞を、飯田健夫・立命館副総長が瑞宝小綬賞を受章されました！

2011
春の叙勲
ニュース

本年度春の叙勲において、濱川圭弘・元立命館副総長（'56 理工）、飯田健夫・立命館副総長のお二人がその功績をたたえられました。



濱川圭弘・元立命館副総長
瑞宝中綬賞
教育研究功労



飯田健夫・立命館副総長
瑞宝小綬賞
通産行政事務功労

校友の皆様からの情報と投稿をお待ちしています

校友会報「りつめい」では、読者の方々の投稿と「立命館 思い出の場所はいま…」に掲載する情報を募集しています。

○「読者の声」投稿募集

皆さまのご意見をお寄せください（400～800 字）。郵便、ファクス、Eメールのいずれでも結構です。

○「立命館 思い出の場所はいま…」の情報募集

皆さまが通っていた立命館のキャンパス周辺は今、どうなっているのでしょうか。校友会報「りつめい」では、皆さまから取材してほしい母校周辺の情報を募り、誌面の中で取り上げるコーナー「立命館 思い出の場所はいま…」を随時掲載しています。皆さまからの情報に基づいて、各キャンパス周辺の「いまの姿」をお届けします。

下記の①～③をご記入のうえ、ファクスまたはメールにてご応募ください（メールの方は、件名を「立命館 思い出の場所はいま…」としてください）。

①誌面掲載を希望する場所（例：衣笠キャンパス近くの喫茶店「○○」） ②その場所に関するエピソード

③卒業年、卒業学部、通っていたキャンパス、お名前、電話番号、メールアドレス *掲載希望の写真がある方はその旨明記をお願いいたします。

いずれも掲載の採否は校友会広報委員会にて決定いたします。採用が決まりました方には、追ってこちらからご連絡させていただきます。

宛て先

立命館大学校友会事務局 「読者の声」係 または「立命館 思い出の場所はいま…」係
〒604-8520 京都市中京区西ノ京朱雀町1
TEL:075-813-8216 FAX:075-813-8217 E-mail:alumni@st.ritsumei.ac.jp

立命館のゼミナール訪問

衣笠 実写制作ゼミ(映像学部)



📖 実写制作ゼミ：映像学部 品田隆教授・深沢伸行教授・林基継教授・山本浩史准教授・藤岡幹嗣准教授・島村漱客員教授
📖 ゼミテーマ：実写映像作品制作および次代の映像業界を担う人材の育成

太秦にある立命館松竹スタジオで開講される実写制作ゼミ。豊富な現場経験を持つ6名の教員による指導のもと、熱意ある学生が集まって作品づくりに打ち込んでいます。

Interview

「観る人を感動させる」作品づくり

このゼミは実写映像作品の制作に関わるすべての要素を網羅しています。監督、撮影・照明、編集、音響など、実写映像を作る上での映像と音の構築を各分野の専門家である担当教員が連携して指導し、学生の作品制作をサポートします。指針としているのは、ビジネスとして成立する「視聴者側のことを考えた作品づくり」。作り手の自己満足に陥らず、いろんな意味で観る人を感動させることを考えた作品づくりを目指しています。

ゼミ生は、映画やCM、ドキュメンタリーなど、どのような表現形態で伝えたいテーマを構築するのかを考えて作品にしていきます。3回生の前期では、各自15分以内の短編作品を制作。後期は卒業研究のテーマを考え、企画書、シナリオを作成します。4回生ではそのシナリオをもとに撮影、編集し、音響効果をつけて卒業研究作品を完成させます。

制作はチームプレー。ゼミの仲間や外部の方の協力を得て進めていくのです。全員の力で作品を「1+1=2」ではなく「=100」にするには、互いを思いやる心が欠かせません。そうして連携してきたゼミ生たちの間には「グループワーク」よりも、もっと強い絆が生まれます。

連携の中でそれぞれがスキルを向上

はっきり言ってゼミ生の毎日は大変。けれど、一つの目標に向かって進んでいくので充実した学生生活を送ることが出来る。お互いの意見を聞かせても、向かう先は一つ、「良い作品を作りたい」。連携を通して、作

品に対して常に考えて行動し、協調性と自己主張との兼ね合いを学びとり、各自がスキルを向上させていきます。外の評価を受けて成長してほしいので、映画祭などへの出品も奨励しています。ゼミ生の課題作品や卒業研究作品が学生映画祭などで受賞することも珍しくありません。

実写映像制作を通して「人間性」を育む

制作の過程で自分のやりたいことを具現化する作業に慣れているので、卒業後についても目指す方向をはっきりと決めて進んでいる学生が多いと思います。ゼミで養った目的意識が効果として表れている事例です。映像業界に進む割合も高いので、学生時の経験が企業側にも受け入れられているのではないのでしょうか。このゼミが目標としているのは「人間育成」。映画を中心とした実写映像に携わるということにおいて、人間性は非常に重要なのです。技術力も大事ですが、まず人として必要なことを身につけてもらいたい。時には厳しく指導することもあります。卒業する頃にはほとんどの学生が自分の枠を飛び出して大きく成長してくれています。

Profile

品田 隆 (しなだ たかし)

映像学部教授

1981年大阪芸術大学芸術学部映像計画学科卒業。(株)電通映画社CM制作部、テレビ局制作部を経て、1988年シナダディレクションオフィス設立。CM、PV、ドキュメンタリー、イベント映像など幅広い分野で作品を手がける。



「自学自習で」スキルアップ

「ゼミを通して、人としてあるべき姿勢を意識してもらいたい」と、授業はいつもあいさつからスタート。実写制作ゼミでは、作品制作に欠かせない「one for all, all for one」の精神をなにより大切にします。

学生の自発性に委ねられているゼミには、「やる気があれば制限なく様々な活動ができる」と、制作への強い熱意を持つ学生が集まる。自ら動いて得られる経験が社会に出ても役に立つと感じているようだ。3回生は4回生の卒業制作に自主的に協力し、そこでの「気付き」を自分の制作に生かしていく。このサイクルが次の学年、そのまた次へと連綿と受け継がれており、「自学自習」によって学生はスキルアップしていく。



Schedule

- 3 回生
 - 前期 ゼミ課題作品制作
 - 後期 卒業研究作品テーマ設定
企画、シナリオ作成
- 4 回生
 - 前期 卒業研究作品制作
 - 後期 卒業研究作品制作

Student's Voice

一人の人間として大きく成長できる

映像学部4回生
福住祥明 さん



実写制作ゼミの特徴は、映像制作に必要な専門的な知識をプロの現場で活躍する先生方に教えてもらえることです。技術の伝授や確かな指導はもちろんのこと、時には人生の先輩として個人的な相談にも乗ってくれます。学生も、一人ひとりがより良いゼミにするために考え、行動しているため、個々の目的意識が高く、組織としての結束力も強いのです。このゼミでの多くの経験から、一人の人間として大きく成長し、同じ志を持つ互いに刺激し合える仲間と出会えたことを、本当に良かったと思っています。

BKC 小島ゼミ (生命科学部)

小島ゼミ：生命科学部 小島一男教授

ゼミテーマ：光触媒や蛍光材料などの光機能性材料の作製および物性調査

現在競争が激化している、光触媒をはじめとした光機能性材料などの作製を専門とする小島ゼミ。
幅広い分野に興味を広げながら、それぞれが自分の目標をはっきりと見つめて研究を進めています。



Interview

身近な暮らしで活用されるテーマ

このゼミでは、光触媒、蛍光（発光）材料、直線状炭素材料「ポリイン」を大きなテーマとしています。これらを「ゾル・ゲル法」という方法で作製し、その各過程における物質の性質をいろんな条件のもとで調べています。

現在、光触媒の基礎研究に力を入れています。光触媒には、光を当てると有害な有機物を分解する機能があり、新築の家や病院施設、浄水場などで利用されています。また、水が流れやすくなるという特質により汚れが付きにくくなることから、車のサイドミラーやトンネルのハログンランプなどにも利用されています。

蛍光材料の新しい研究としては、最近、ゲルマニウムの酸化物にマンガンを入れ、全体を薄い膜にして強い緑色の光を発するものを作ることが出来ました。マンガンを入れなければ光触媒になるという、まだ他ではあまり見られないものです。

直線状炭素材料「ポリイン」はダイヤモンドなどの仲間。実用化はまだ先ですが、真っすぐに並ぶ炭素原子に沿って電気を流して、電線のように利用できるのではと考えられています。このポリインを、私の研究室ではレーザー光を液体中の黒鉛（グラファイト）に当てる新しい方法で作製しています。

このように身近な暮らしで大いに活用されているテーマだからこそ、非常に競争が激しい分野と言えます。

すでにあるものを上回る新たな結果なら、その対応を短期間に集中して

ゼミでは、3回生の終わり頃から基礎的な実験をして、4回生になるまでに卒業研究のテーマを決めます。4回生になると、教員や大学院生たちに教わりながら個別に実験を行ない、卒業研究を進めます。実験を通してすでに出されている研究結果を上回る新しい結果が出れば、その対応を短期間に集中します。

ゼミ生は、ひと言で言うと積極的。自分が発表したいことをきちんとと言える学生が多いですね。その積極性に加えて基礎学力を固めれば、さらに伸びていくのではないかと思います。

ここまでと決めてしまわず、どこまでも追求して

自分で新しい結果を見つけると、たとえ小さなことでも自信につながります。それは社会に出てからも支えとなるはず。そのためには、今の若い時期に最大限の力を出し、自分でここまでと決めてしまわず、どこまでも追求してほしい。最後まであきらめなかった学生と、そうでない学生との差は、卒業する頃には目に見えて現れるようになります。

Profile

小島 一男 (こじま かずお)

生命科学部教授

1977年立命館大学理工学部化学科卒業。1979年京都大学大学院理学研究科化学専攻博士課程中退、同年立命館大学理工学部助手。同学部応用化学科教授などを経て、総合理工学院生命科学部応用化学科教授へ（現職）。理学博士。



それぞれが緊張感を持ってテーマに向き合う

ゼミでは学生それぞれがテーマを持ち、積極的に研究に取り組んでいる。次世代の科学を担う材料として期待されるだけに、各研究機関や企業が日々開発にしのぎを削るテーマなのだ。

授業では毎回2人が発表する。取材時は、光触媒とリチウムイオン電池をテーマにした発表が行なわれた。自分のテーマに真剣に向き合っているからこそ、仲間の発表には先輩・後輩の隔てなく活発に質問が飛び交う。ゼミ生は教員や大学院生に教わりながら、1カ月ほどかけて発表を準備。授業を進行するのも大学院生だ。教わるのはもちろん、教えるという経験からも学んでらうのが狙い。そのようなゼミ生の間には、卒業後もずっと続く人間関係が築かれているという。



Student's Voice

ものづくりと同時に、解析にも力を入れる

生命科学部4回生

藤村麻衣さん



ゼミの特徴は、ものづくりと同時に解析にも力を入れること。各試料について光学スペクトル、磁気共鳴（ESR、NMR）など様々な側面から測定を行ない、材料化学分野への応用・展開を目指しています。私は、テルビウムイオンを含有したタンタル酸化物母体の蛍光球状粒子について研究しています。豊富な過去の資料を参考に、新しい経験をたくさん積むことができています。学会などに参加できる機会も多く、仲間の実験報告や文献紹介からも、他分野含め、より深い知識を得ることができます。

● 4 回生

Schedule

前期 研究テーマの決定、練習実験、文献調査、文献紹介と実験結果の報告

後期 研究テーマに沿った実験・解析・中間報告、文献調査・紹介、卒業論文作成

SPORTS スポーツ

問い合わせ先：スポーツ強化センター
075-465-7863

第26回ユニバーシアード競技大会（2011/深圳）で立命館大学の学生が大健闘！

（8月12日～23日 中国・深圳）

第26回ユニバーシアード競技大会において、立命館大学の学生たちが優秀な成績を収め、日本の躍進に貢献した。立命館大学の学生の各競技結果は以下のとおり。

陸上競技

- ◆女子ハーフマラソン（団体）
優勝 日本チーム 3 時間 50 分 43 秒
※上位 3 名の合計タイム。岩川真知子さん（経営 4）のタイム（1 時間 16 分 53 秒）が採用された。
- ◆女子 10,000m
2 位 田中華絵さん（経済 4）
33 分 15 秒 57
- ◆男子 1,600 m リレー
2 位 日本チーム 3 分 5 秒 16
2 走 堀江新太郎さん（経済 3）46 秒 2
- ◆女子ハーフマラソン（個人）
4 位 岩川真知子さん（経営 4）
1 時間 16 分 53 秒
- ◆女子 5,000m
6 位 田中華絵さん（経済 4）
16 分 4 秒 5
- ◆男子 100 m
準決勝進出 小谷優介さん（経済 4）
10 秒 43

テニス競技

- ◆混合ダブルス
3 位 仁木拓人さん（法 6）組

セーリング競技

- ◆RS:X 級
11 位 小島真理子さん（産社 4）



各国代表の選手たちと競う田中華絵さん（ゼッケン 755 番）

弓道部

第59回全国大学弓道選抜大会 女子団体 2年ぶり2度目の優勝！

（8月9日～11日 グリーンアリーナ神戸）

第59回全国大学弓道選抜大会において、弓道部女子が団体戦で2年ぶり2度目の優勝を果たした。全国から207校が参加する中、予選、決勝トーナメントを勝ち上がり、決勝戦では東北学院大学との接戦の末、見事勝利を収めた。



男子ソフトボール部

第46回全日本大学男子ソフトボール選手権大会、9年ぶりの決勝進出で惜しくも準優勝！

（8月27日～29日 山口県宇部市 東部体育広場）

第46回全日本大学男子ソフトボール選手権大会において、9年ぶりの決勝進出を果たした。決勝では惜しくも中京学院大学に1-7で敗れたが、準優勝の結果を残した。

ボート部

第38回全日本大学ボート選手権大会で男子ダブルスカル優勝！

（8月25日～28日 埼玉県戸田市 戸田ボートコース）

第38回全日本大学ボート選手権において松田達也さん（経済 4）、奥村武さん（経済 5）

が男子ダブルスカルの種目で優勝を勝ち取った。その他、男子舵手つきペア3位、女子舵手つきクォドルブル3位、男子舵手なしクォドルブル4位となった。

硬式野球部

読売ジャイアンツ・福岡ソフトバンクホークスとプロ・アマ交流戦を開催

（8月6日、31日 皇子山球場）

硬式野球部と読売ジャイアンツ、福岡ソフトバンクホークスとの交流戦が行われた。この交流戦は、日本学生野球憲章が改正され、2011年3月からプロの単独チームと大学との交流戦が解禁されたことにより実現したもので、3月に行った阪神戦に続く交流戦が実現した。

8月6日（土）は、立命館大学が若手選手中心に構成された読売ジャイアンツに4-1で勝利した。8月31日（水）の福岡ソフトバンクホークス戦では0-1で惜敗した。



立命館中学校

立命館中学校野球部 第33回全国中学校軟式野球大会に出場！

（8月6日～8日 わかさスタジアム京都）

8月6日（土）から3日間に渡り「わかさスタジアム京都」にて開催された第60回近畿中学校総合体育大会（軟式野球の部）において、野球部が第3位となり、第33回全国中学校軟式野球大会への出場を決めた。

8月17日（水）から20日（土）にかけて和歌山県で開催された全国大会では、1回戦を勝ち上がったが、2回戦で佐賀市立諸富中学校（本大会優勝校）に0-3で惜敗した。



CULTURE/ART 文化・芸術

問い合わせ先：学生オフィス
075-465-8167

囲碁研究部

第47回全日本女子学生本因坊決定戦にて囲碁研究部が大健闘!

(8月13日、14日 東京都千代田区)

学生囲碁の頂点を決める第55回全国学生本因坊決定戦と第47回全日本女子学生本因坊決定戦が開催された。第47回全日本女子学生本因坊決定戦では、堀本範子さん(産社2)と呉理沙さん(国関1)が決勝に進み、立命館大学生同士の決勝戦となった。接戦の末、堀本範子さんが勝利し、女子学生本因坊に決定した。



また、毎日・佐川急便杯争奪第55回全国学生本因坊決定戦では山下寛さん(産社2)が3位、梅谷豊巨さん(経営3)が4位に輝いた。

かるた会

第18回全日本大学かるた選手権大会でかるた会が5連覇を達成!

(8月13日、14日 近江神宮軟学館)

第18回全日本大学かるた選手権大会が開催され、団体の部において立命館大学かるた会が5連覇を果たした。本大会における優勝は7回目となる。

個人の部においても健闘し、大学代表の部で本多未佳さん(産社4)が優勝を果たしたのをはじめ、各回生の部でも以下の通り優秀な戦績を収めた。

個人戦の部

◆大学代表の部

優勝 本多未佳(産社4)

◆4回生の部

優勝 楠木早紀(産社4)

◆2回生の部

優勝 本多恭子(スポーツ健康科学2)

◆1回生の部

3位 飯田花菜子(文1)

応援団チアリーダー部

応援団チアリーダー部PeeWeeS!が、創部初のジャパンカップ3位入賞!

(8月26日～28日 国立代々木競技場第一体育館)

「2011 ジャパンカップ チアリーディング 日本選手権大会」が開催され、応援団チアリーダー部PeeWeeS!がDIVISION1 大学部門で創部初の3位入賞を果たした。

また、11月26日(土)、27日(日)に香港で開催される第6回チアリーディング世界選手権大会の日本代表に、橋本香澄さん(産社4)、古澤秀晃さん(産社4)が男女混成部門で選出された。



! 書道部

第16回全日本高校・大学生書道展で大賞他受賞

第16回全日本高校・大学生書道展の選考結果が、8月10日(水)に発表された。応募総数10,774点のうち、川上里沙さん(文2)が「かな部門」で最高賞の全日本高校・大学生書道展大賞に選ばれるなど、多数の賞を獲得した。また、大学の部(団体)では創部初の10位となり、団体賞を受賞した。

個人の受賞

◆全日本高校・大学生書道展大賞

川上里沙さん(文2)・かな部門

◆全日本高校・大学生書道展賞

吉武咲枝里さん(文4)・かな部門

江藤悠平さん(生命3)・漢字部門

川上里沙さん(文2)・漢字部門

◆優秀賞 7名



大賞を受賞した川上里沙さんの作品

▶ バトントワリング部

2011マーチングバンド&バトントワリング アジア大会でゴールドを受賞

(8月20日、21日 幕張メッセ)

「2011 マーチングバンド&バトントワリング アジア大会」第2回マーチング バンド・バトントワリング国際大会が開催された。コンテスト部門においてバトントワリング部の演技が高い評価を得、ゴールドを受賞した。



CAMPUS ACTIVITIES 学生活動

問い合わせ先：学生オフィス
075-465-8167

小学生夏休み自由研究企画「立命の家2011」を開催

「立命の家2011」が、びわこ・くさつキャンパス内で開催された。

各学部のプロジェクト団体や学術系サークルの学生が中心となり、地域の子どもたちに自ら学ぶ楽しさを知ってもらう体験型の学習機会として企画・運営するもので、今年で11年目を迎える。



当日は、ゲームのキャラクターをパソコンで作るプログラミング体験企画、プラネタリウム、ロボット製作講座、そしてミニソーラーカーを作る企画など、身近な科学を体験できる多数の企画が実施された。さらに、英語を使ったゲームなど英語に親しめるプログラムなども用意され、参加した子どもたちは、一つ一つの企画に真剣な表情で参加していた。

また、今年は、新しく保護者の方々や一般の方を対象にした「立命の家+ (プラス)」も同時開催された。大人向けのカルチャースクールをテーマに、ギター教室、エコバックデザインワークショップ、お菓子作り教室などを実施。参加者は企画を楽しみながら、学生との交流を行った。



「未来をつくるR2020—立命館学園の基本計画—前半期(2011年度から2015年度)の計画要綱」を策定

学校法人立命館は、「未来をつくるR2020—立命館学園の基本計画—前半期(2011年度から2015年度)の計画要綱」(以下R2020基本計画要綱)を策定いたしました。

この要綱は、2020年の世界と地域に立命館が果たすべき役割とそれを実現する学園の姿を明らかにし、私たちがめざす方向性を示した「学園ビジョンR2020(※1)」を実現するために、全学の議論を経てまとめたもので、主に2011年度から2015年度までの5年間の計画を記しています。

2011年3月末にまとめた内容に、3月11日に発生した東日本大震災を受けての教育・研究機関としての役割、立命館大学のキャンパス構想についての項目などを新たに盛り込み、7月15日に発表いたしました。

R2020基本計画要綱に提示した個々の取り組みについては、毎年度の事業計画において、具体的な執行計画・予算措置を策定し、実行していきます。また年2回、計画の進捗状況の検証を行うと共に、必要に応じて、計画の補正を行っていきます。

★R2020基本計画要綱はHPよりダウンロードできます。

<http://www.ritsumei.jp/news/pdf/r2020-final.pdf>

※1 <学園ビジョンR2020とは>

立命館学園の理念を示す「立命館憲章」を踏まえて、2020年に立命館がどのような学園を目指すのかという将来像を示すものです。2009年から作成に着手し、学生・生徒・児童、教職員や保護者、卒業生の皆様といった立命館学園の構成員、学園に関わる方々の参加・参画のもと、2010年5月に策定しました。

「ひみつ道具」実現において ドラえもん科学未来展に 立命館大学から3種類のロボットを出展!

新梅田シティ・梅田スカイビルファンファンプラザ(大阪市北区)において、「ドラえもん科学未来展」が7月16日(土)から8月31日(水)まで開催されました。この展示会は、ドラえもんが使う数々のひみつ道具を、現在の科学技術ではどこまで実現させることが可能なのかを探究するもので、2010年から全国各地で開催されています。

会場には発明品の数々が展示され、本学からもロボット3種類を出展しました。

会場には体験コーナーも設置され、訪れた子どもたちは、最先端の科学技術に触れながら楽しんでいました。

「ドラえもん科学未来展」は10月7日(金)から23日(日)にかけて、岩手県の盛岡市民文化ホール展示ホール(マリオス内)でも開催されます。こちらにも本学から同ロボット3種類を出展します。



出展ロボット

■「強くなりたい!力もちになりたい!」

研究機関:総合理工学研究機構・先端ロボティクス研究センター
責任者:金岡 克弥 チェアプロフェッサー
ロボット名:マンマシン シナジー エフェクタ

■「小さく、小さくなれたら・・・」

研究機関:総合理工学院・理工学部 ロボティクス学科
責任者:牧川 方昭 教授、小西 聡 教授 野方 誠 准教授
ロボット名:マイクロ体内ロボット

研究機関:総合理工学院・理工学部 マイクロ機械システム工学科
責任者:小西 聡 教授
ロボット名:みゅーたん

夏のオープンキャンパスを開催!

8月6日(土)、7日(日)、衣笠キャンパス、びわこ・くさつキャンパス(BKC)にて、2011年度夏のオープンキャンパスを開催。2日間で総数13,948名もの高校生、保護者らが本学を訪れました。

「リアルを体験するオープンキャンパス」をコンセプトに、各学部の教育・研究内容などを

受験生に発信し、具体的な大学生活のイメージを持ってもらうことを目的として、企画を実施。政策科学部では「模擬ディベート」、映像学部では「松竹スタジオ見学ツアー」、スポーツ健康科学部では「アスリート向けのおやつを作ろう!」など、学部ごとに特徴のあるイベントを行いました。

他にも、入試説明会や模擬授業などを中心に、参加体験型の企画を多数開催。来場者は朝から夕方にかけて学内を巡りました。



※今回オープンキャンパスに参加できなかった方も、受験生向けサイト「リツネット」で、当日のレポートや最新の入試情報をご覧いただけます。また、当日配布した資料や情報は各地の立命館プラザで入手可能です。そちらも積極的にご活用ください。

応用人間科学研究科開設10周年記念式典・シンポジウムを開催

7月2日(土)、衣笠キャンパスにおいて、「立命館大学応用人間科学研究科 開設10周年記念式典・シンポジウム」が開催されました。会場には、修了生、同研究科の教員、学内関係者ら約150人が集まりました。

記念式典では、中村正・応用人間科学研究科教授が「応用人間科学研究科がめざしてきたもの—対人援助学の創造とその可能性—」というテーマで基調講演を行いました。

第二部は、「東日本大震災と大学の役割—応用人間科学研究科に期待されること—」というテーマでシンポジウムを開催。阪神・淡路大震災における経験を踏まえ、今回の震災からの復興支援に対し、大学が社会と連帯しながらできることについて活発な意見交換が行わ



れました。

応用人間科学研究科は、このシンポジウムを契機に、今後10年にわたり被災地に赴く支援プロジェクトに取り組むことを表明しました。

立命館・UBCジョイントプログラム 20周年記念式典を開催

7月2日(土)、グランドプリンスホテル京都にて、立命館・UBCジョイントプログラム20周年記念式典を開催しました。立命館・UBCジョイントプログラムは、毎年100名の学生がカナダのプリティッシュコロンビア大学(UBC)へ留学するプログラムで、1991年に始まり、これまで参加した学生は2,000名にのびります。

記念式典には、プログラムの過年度参加者、今年の参加予定者、そしてUBCと立命館の教職員のほか、来賓としてカナダ大使が参加しました。

式典ではDavid H. Farrar UBC副学長、Jonathan T. Fried駐日カナダ大使がグローバルイノベーションにおいて高まる国際協力の



ニーズについて述べました。

2012年度から、立命館・UBCジョイントプログラムは、より高度な国際的学習プログラムに発展し、立命館・UBC「国際リーダー養成」プログラムとして新たにスタートを切ることとを予定しています。

2011年度 国家公務員採用I種試験 に23名(私大3位)が合格

6月20日(月)、国家公務員採用I種試験の合格発表が行われ、立命館大学からは23名が合格しました(全国13位、私大3位)。

2011年夏季 省エネルギーの取り組みを実施

立命館学園は2010年2月に立命館地球環境委員会を設置し、中長期的な地球環境問題改善に向けた活動を行っています。また、全国的な電力供給不足を鑑み、「2011年夏季省エネルギー緊急の取り組み」として電力運用方法の



見直しや使い方の工夫などを中心に学内で実施しました。

★電力使用状況および省エネの取り組みはHPから→
<http://www.ritsumeai.ac.jp/rs/eco/>

「京都太秦物語」DVD発売決定!

山田洋次監督(映像学部客員教授)が映像学部生と作り上げた作品「京都太秦物語」が10月8日(土)から全国発売されます。

本DVDの特典映像として、製作ドキュメントが付いており、こちらも学生が撮影・企画・編集に参加しています。

お近くのDVD販売店でお買い求めいただけますので、是非ご覧ください。



- 発売日: 2011年10月8日(土)
- 価格: 3,990円(税込)
- 特典映像: ○山田洋次映画を創る、人を学ぶ映画『京都太秦物語』製作ドキュメント ○劇場予告編
- 販売・販売元: 松竹(株)映像商品部©松竹

東日本大震災 立命館学園の取り組み

被災した学生の生活を支えるために、 学生の継続的なボランティア活動を 支えるために

●立命館災害復興支援基金(復興+R基金)の設置

被災した本学学生が卒業するまで引き続き学ぶことができるように経済的な支援を目的とする「被災学生支援金」と、学生ボランティアなどの復興支援活動を支援する「復興活動支援金」から構成される「立命館災害復興支援基金(復興+R基金)」を設置しました。教職員を対象に、月額年俸の0.5%を2年間「被災学生支援金」へ充てる寄付の呼び掛けを行っています。あわせて、校友・父母のみなさんをはじめ広く社会に対しても寄付を呼び掛けています。

★復興+R基金の概要はHPより

<http://www.ritsumeai.ac.jp/rs/20110311/ru/>

研究を通じた復興支援

●「東日本大震災に関する研究推進プログラム」

研究を通じた復興支援の一環として、被災地の復興支援、災害時の被害軽減などをテーマとしたプロジェクト研究、被災した大学・研究機関との共同研究プロジェクト等の研究活動をサポートする「東日本大震災に関する研究推進プログラム」の募集および採択を行いました。立命館大学、立命館アジア太平洋大学で74件の申請があり、33件を採択しました。採択された研究プログラムはHPからご覧いただけます。

★採択された研究プログラムはこちら

立命館大学

<http://www.ritsumeai.ac.jp/file.jsp?id=36425>

立命館アジア太平洋大学

<http://www.ritsumeai.ac.jp/file.jsp?id=36651>

「+R for FUTURE」を合言葉に

東日本大震災の復興支援に関わる人たちの思いをひとつにしたい、立命館で学び、研究し、働くことで得た知識や行動力を復興支援に活かしたいというコンセプトのもと、「+R for FUTURE」という言葉が生まれました。

ステッカーや缶バッジ(100円)、シリコンバンド(300円)等グッズも用意しています。売上の一部は、復興+R基金に寄付されます。

缶バッジ、シリコンバンドとも立命館生協購買部にて購入することができます。



他にも、学生の自主的な活動、教育・研究での支援、各附属校の取り組みなど、さまざまな形で復興支援に関わっています。

立命館学園の復興支援に関わる取り組みの詳細はHPの「東日本大震災 私たちにできること」からご覧いただけます。

校友消息 (判明分)

叙勲2011年春

■瑞宝中綬章

濱川圭弘氏
(56理工、元立命館副総長)
大阪大学名誉教授

■旭日小綬章

川端治夫氏(61文)
三重県造組合会長

■瑞宝小綬章

飯田健夫氏(立命館副総長)
元工業技術院生命工学
工業技術研究所次長

崎野 隆氏(63経済)
元公立高校長

竹村 隆氏(63文)
元公立高校長

中井正彦氏(62文)
元公立高校長

前田増夫氏(62理工)
元兵庫県土木部長

■旭日双光章

春日 昇氏(63法)
元京都司法書士会長

北村安雄氏(64経済)
元守山市議

藤本昭二郎氏(63法)
全日本煎茶道連盟理事長

■瑞宝双光章

松尾征一氏(67理工)
元近畿運輸局兵庫陸運支局長

村松輝克氏(65法)
保護司

危険業務従事者叙勲
2011年春

■瑞宝双光章

市田純三氏(67法)
警察功労

大重尚忠氏(66法)
警察功労

河合達夫氏(63経済)
消防功労

杉山俊明氏(67法)
警察功労

中沢隆司氏(65文)
消防功労

柳田裕行氏(58経済)
消防功労

山口貞博氏(58経済)
消防功労

米村佳久氏(63法)
警察功労

■瑞宝単光章

坂下富夫氏(64法)
警察功労

篠原昭喜氏(63法)
警察功労

褒章2011年春

■藍綬褒章

南部邦男氏(73文)
ナベル社長

浜田次雄氏(65法)
調停委員

就任

安部慶喜氏(00院理工博前)
アビームコンサルティング(株)
執行役員
6月1日就任

清武英利氏(75経済)
(株)読売巨人軍
ゼネラルマネージャー
6月7日就任

早川 正氏(75産社)
読売新聞東京本社取締役制作局長
6月7日就任

加藤雅大氏(75経営)
トヨタ自動車(株)常勤監査役
6月17日就任

奥 博氏(79経営)
滋賀銀行常務取締役
6月24日就任

高橋祥二郎氏(79経済)
滋賀銀行常務取締役
6月24日就任

西川健三郎氏(78経済)
滋賀銀行常務取締役
6月24日就任

竹内 昭氏(81理工)
中部電力(株)
執行役員流通本部系統連用部長
7月1日就任

竹田正俊氏(96経済)
京都試作ネット代表理事
7月23日就任

雨宮敏雄氏(93法)
京都府警公安課長
9月5日就任

訃報

松井 實氏(44専工)
(校友会顧問)
7月4日ご逝去。86歳

今井凌雪氏(本名・潤一 49経済)
(校友会元幹事)
7月26日ご逝去。88歳

町田 章氏(64院文)
(奈良県北部校友会参与)
7月31日ご逝去。72歳

亀 伍一郎氏(47専法経)
(校友会顧問)
8月27日ご逝去。88歳

BOOKS

校友会へご惠贈下さいました本の中から紹介させていただきます。

◆今尾昌子氏(87文)著
『人生は観覧車のように』
太陽出版*1000円+税

◆川村匡由氏(69文)共著
『教育福祉論』
ミネルヴァ書房*2800円+税

◆佐竹力総氏(70法)著
『三百年企業 美濃吉と京都商法の教え』
商業界*1429円+税

◆橘 直己氏(85法)共著
『御社の「非正規」雇用、ここが問題です!』
実務教育出版*1800円+税

◆谷口 巧氏(99文)著
『東京ブルー』
圓津書屋*2000円+税

◆寺西純二氏(74文)著
『詩集 生誕』
自費出版

◆中島克幸氏(85法)著
『上州をゆく』
あさを社*1200円+税



立命館大学国際平和ミュージアム企画展のご案内

特別展

「世界報道写真展2011
—WORLD PRESS PHOTO 2011—」

世界報道写真財団が毎年開催するコンテストの入賞作品で構成した写真展。いま一度、平和とは何かを考えるきっかけとして、どうぞご覧ください。



秋季特別展

「プリーモ・レーヴィ
—アウシュヴィッツを考えぬいた作家—」

プリーモ・レーヴィはアウシュヴィッツから奇跡的に生還したイタリアの作家で、その作品や証言は多くの人に影響を与えています。本展では日本で初めて本格的にレーヴィを紹介しします。



第68回ミニ企画展示

「ポーレ・サヴィアーノ写真展 —FROM ABOVE in 京都2011—」
アメリカ人の写真家、ポーレ・サヴィアーノが、大空襲や原爆を体験した人々の“現在”の姿を撮影したポートレートを展示します。

第69回ミニ企画展示

「第5回立命館附属校 —平和教育実践展示—」
立命館学園の附属校による、“平和”への取り組みを紹介します。

①立命館中学校・高等学校	10/16(日)～10/28(金)
②立命館宇治中学校・高等学校	10/30(日)～11/11(金)
③立命館小学校	11/13(日)～11/25(金)
④立命館守山中学校	11/27(日)～12/9(金)
⑤立命館慶祥中学校・高等学校	12/11(日)～12/23(金)

会 期

特別展

「世界報道写真展2011 —WORLD PRESS PHOTO 2011—」
開催中～10月16日(日) ※10/18(火)～11/3(木)、BKC
11/6(日)～11/20(日)、APUで開催。

秋季特別展

「プリーモ・レーヴィアウシュヴィッツを考えぬいた作家—」
10月22日(土)～12月17日(土)

第68回
ミニ企画展示

「ポーレ・サヴィアーノ写真展 —FROM ABOVE in 京都2011—」
開催中～10月13日(木)

第69回
ミニ企画展示

「第5回立命館附属校 —平和教育実践展示—」
10月16日(日)～12月23日(金) ※詳細は上記

開 館 時 間

午前9時30分～午後4時30分(入館は午後4時まで)

休 館 日

月曜日(祝日の場合はその翌日)、祝日の翌日、'11年12/28(水)～'12年1/5(木)

観 覧 料

一般400円(350円)/中・高生300円(250円)/小学生200円(150円)
()は20名以上の団体料金/障害者手帳をお持ちの方(介護者1名を含む)は無料
※特別展「世界報道写真展2011」期間中は、一般観覧料が500円(団体料金適用はありません)となります。

立命館大学国際平和ミュージアム
特別展・常設展
校友招待券
2011年12月27日(水)まで
(校友1名・家族1名・観覧料)
No.246

行 き詰まる世界経済に我が国の経済も翻弄される中、逼迫する財政状況や震災復興へ向けた政府の確固たる政策も見えず、先行きへの不安ばかりが募る。

とはいえ、大量退職・採用の時代にあって、全国の平成24年度公立学校教員採用選考試験の採用予定者数は29,572人となり、昨年度に比べて更に約1,900人増加した(教育新聞社調べ)。

未曾有の大震災に自ら被災しながらも、子どもたちの教育や被災者の支援のため懸命に努力する現場教員の姿に、地域における学校の役割への期待が高まっている。

仕事柄教員採用試験にも関わっているが、現場教員の真摯な姿が若々しい受験生の未来の姿とダブリ、「この国も捨てたものではない」と感じるのである。(あ)

人 ものを伝えることは難しい。大学を卒業後、文章を書く仕事を約10年続けている。年々書くのがうまくなるのかと思いきや、経験を重ねるにつれ文章の難しさを感じるが多くなった。意図した通りに行かないというのはよくあることで、全く逆の伝え方をされてしまうこともある。東日本大震災後のさまざまな問題を話し合う時、特にその傾向が強くなっているように思う。議論が分かれる問題においては、政治的画策は置いておくとしても誤読の問題を含め考えを確実に、誠実に伝えようと努力することがより重要になるはずだ。

今回から、本誌の編集に携わらせてもらうことになった。この場においてもこの思いを忘れず、読んでくださる皆様に分かりやすく伝えられればと願ってやまない。(人見勲輔)

東 日本大震災から半年、その被害の甚大さ、長期化に不安は募るばかりである。1000年に一度、想定外の大地震と言われるが、過去の文献には今回の震災に匹敵する規模の地震が起きていたと思われる記述があると言う。昔の文献は科学的根拠が乏しいなどの理由で考慮されない場合があるが、今一度、考え直す必要があるのではないか。震災以降、原発問題、それに伴う電力問題など、今まで私たちが享受してきた生活様式、価値観を一変させる大きな問題が次々と起こっている。学生時代に読んだ本から、問題解決には、まず自分の足元、出来ることからやり始めることが大切だと学んだ。問題の大きさに負けず、今私ができることは何か、そして持続して出来ることは何かを考えて実行していきたいと思う。(森 力)

初 の執筆となります。2、3年前から、微力ながら校友会活動のお手伝いをさせていただいております。校友会の中に入って、「立命」のパワーに気付かされました。全国で活躍する校友の数。某大企業の社長、霞が関の重役…校友会が活性化することで、各校友の人脈がどれだけ広がるのか…校友活動が盛んな他大学に比べるとまだまだですが、恐るべきパワーを秘めていると思います。そういえば、私の勤務先の立命出身者も個性派ぞろい。最年少部長も生まれました。恥ずかしながら、お手伝いをするまで、なぜ校友会があるのか、校友誌を発行するのかという意味を考えたことがありませんでした。同じ母校というだけで、これだけの繋がりがあること。この繋がりをぜひ校友の皆様お一人お一人に活かしていただきたいと思います。(榎本暁子)

堂本印象美術館企画展のご案内

企画展

「印象とアンフォルメル・具体・墨象 ー戦後の前衛」

堂本印象が新たな美の表現に挑んだ昭和30年代以降の作品を中心に、アンフォルメルや具体美術協会、墨象の運動を含め、戦後の美術界における前衛的な活動を紹介します。



風神 1961年

特別企画展

「マルチアーティスト・堂本印象 ー日本画・洋画・工芸・建築・デザイン」

日本画家という枠を超えて様々な創造に挑戦した堂本印象をマルチアーティストととらえ、その業績を多角的に紹介します。

11月3日(文化の日)、
生誕120年記念シンポジウムを開催



堂本印象美術館 1966年

企画展

「印象のまなざしー都市と自然」

日本の自然風景、ヨーロッパの街並みなど、堂本印象が描いた多彩な風景表現をスケッチとともに紹介します。

同時開催：ミニ企画展
「印象の神仏画」



バリ近郊 1957年

会 期

企画展

「印象とアンフォルメル・具体・墨象 ー戦後の前衛」
開催中～ 10月23日(日)

特別企画展

「マルチアーティスト・堂本印象 ー日本画・洋画・工芸・建築・デザイン」
10月28日(金)～12月11日(日)

企画展

「印象のまなざしー都市と自然」/ミニ企画展「印象の神仏画」
12月16日(金)～2012年3月11日(日)

シンポジウム

「マルチアーティスト・堂本印象」
11月3日(文化の日)13時30分開場 / 14時開始(予定)
会場：創思館カンファレンスルーム

開 館 時 間

午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休 館 日

月曜日(祝日の場合はその翌日) ※10/25(火)～27(木)、12/13(火)～15(木)は臨時休館

観 覧 料

一般500円(400円) / 高校・大学生400円(320円) / 小・中学生200円(160円)
()は20名以上の団体料金

65歳以上の方(要証明)および障害者手帳をお持ちの方(介護者1名を含む)は無料

★イベント・ガイドは、[堂本印象美術館](#) で、[検 索](#)

特別展・常設展
本券専用
2011年12月27日(火)まで
(休館日と除く) 881円(税別)
校 友 会 報「いつめい」
No.246



りつめい No.246／2011年10月号

発行所／立命館大学校友会／年4回発行

発行人／山中 諄

編集人／中村和歳

〒604-8520 京都市中京区西ノ京朱雀町1

Tel. 075 (813) 8216 Fax. 075 (813) 8217

URL : <http://alumni.ritsumeijp>

E-mail : alumni@st.ritsumeijp